

令和5年度

事業実績報告書

- ※ 法人本部事業
- ※ 障害者支援施設 たまりメリーホーム
生活介護
施設入所支援
- ※ 短期入所事業 たまりメリーホーム
- ※ 日中一時支援事業
- ※ 共同生活援助 こだま
- ※ 生活介護ひかり
- ※ 相談支援事業所 たまりメリーホーム

社会福祉法人 敬山会

令和5年度 法人本部事業実績報告書

1. 実施事業

事業所名	事業内容	定員	事業開始年月日
障害者支援施設たまりメリーホーム	生活介護	60名	1993年04月01日
	施設入所支援	50名	
	短期入所事業	10名	
	日中一時支援事業	5名	
生活介護事業所ひかり	生活介護	30名	2015年04月01日
共同生活援助事業所こだま	共同生活援助（グループホーム）	7名	2013年04月01日
相談支援事業所たまりメリーホーム	①一般相談支援事業 ②特定相談支援事業 ③障害児相談支援事業		2007年04月01日

2. 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会の開催状況

(1) 理事会

開催期日	内 容		出席者
令和05年 06月02日	報告	① 理事長の職務執行状況報告 ② 監事監査の結果報告	理事 6名 監事 2名
	議案	① 令和4年度事業実績報告（案）について ② 令和4年度決算報告（案）について ③ 理事・監事候補者の選出について ④ 評議員選任・解任委員会の開催について ⑤ 令和5年度定時評議員会の開催について	
令和05年 06月17日	議案	① 理事長の選定について	理事 6名 監事 2名
令和06年 03月15日	報告	① 理事長の職務執行状況報告	理事 5名 監事 2名
	議案	② 令和5年度第1次補正予算（案）について ③ 令和6年度事業計画（案）について ④ 令和6年度予算（案）について ⑤ 給与規程の改定（案）について ⑥ 令和5年度第2回評議員会の開催（案）について	

(2) 評議員会

開催期日	内 容		出席者
令和05年 06月17日	報告	① 理事長の職務執行状況報告 ② 監事監査の結果報告 ③ 令和4年度事業実績報告	評議員 8名 監事 2名 理事 1名
	議案	① 令和4年度決算報告（案）について ② 理事・監事の選任について	
令和06年 03月23日	報告	① 理事長の職務執行状況報告 ② 給与規程の改定について	評議員 8名 監事 2名 理事 1名
	議案	① 令和5年度第1次補正予算（案）について ② 令和6年度事業計画（案） ③ 令和6年度予算（案）について	

3. 監事監査

実施期日	結 果
令和 05 年 05 月 18 日	指摘事項、提案事項なし

4. 社会福祉法人一般指導検査

実施期日	指導検査項目	所轄	対象施設等	結果
令和 05 年 12 月 14 日	法人の管理運営・会計	小美玉市	社会福祉法人敬山会	指摘事項なし

5. 研修関係（研修会参加状況等は、別に記載）

6. 公益的取組み（法人独自の取組） ※詳細は別に記載

- (1) 地域清掃活動の実施
- (2) 福祉車両貸出事業の実施
- (3) 緊急一時保護事業の実施

7.

【令和5年度重点目標等に対する評価】

重点目標	評価
<p>1. 利用者の人格や権利及び尊厳に対する尊重を促し、利用者本位のサービスを提供していく</p> <p>①苦情解決制度の活用</p> <p>②身体拘束廃止・虐待防止委員会の定期的な開催と、内容の周知（身体拘束の点検と、虐待防止への取り組み）</p> <p>③身体拘束実施時の適切な記録</p> <p>④身体拘束・虐待防止に関する研修会の強化</p>	<p>○苦情について体制は整備されており、利用者懇談会時に第三者委員の方にも参加して頂き、直接利用者の意見を聞いて頂いた。また、苦情と要望を分けており、今年度は14件の苦情と11件の要望が挙げられ、それぞれ解決に向けて取り組んでいる。新型コロナウイルス感染予防対策についての意見も聞かれ、規制緩和をどのように行っていくのかを検討していかなければならない。また、説明不足や職員個々に対する苦情についても個々の職員が、出された苦情を受け止め、また組織全体のものとして捉え、改善していくようにしている。今後全職員が表面化していない様々な苦情や要望を把握・表出し利用者に一層満足していただく努力が必要である。</p> <p>○身体拘束については、身体拘束等適正化のための指針、法人独自で作成した身体拘束基準に沿って、委員会と個別支援計画モニタリング時に身体拘束者の評価を行っている。継続的に拘束が必要な場合は、個別支援計画承諾時に再度説明し承諾を得ている。また日々の拘束時の様子を記録し、拘束時間の短縮や解除に向けて検討を行っている。更にスピーチロック防止についても取り組んでいる。虐待防止に関しては、虐待防止のための指針に沿って、虐待防止委員会にて、職員の良い所を評価するニヤリ・ホット、年2回職員・利用者セルフチェック、建設的な意見が言える組織づくり等について取り組み、虐待防止に取り組んでいる。</p> <p>○虐待防止委員会にて拘束時の記録の徹底を図り、個別支援計画でも毎月評価を行っている。</p> <p>○毎年施設内研修で権利擁護・虐待防止についての研修を行っている。今年は「研修の位置付け・法的根拠」「委員会の取組内容」「理念の重要性」「障害者虐待とは何か」「身体拘束の適正化」「適切な支援と不適切な支援」についての内容で、委員会研修を行った。また動画を作り、具体的な内容で理解を深めていった。今後グループワークで出された意見について委員会にて検討し、環境改善を図っていく。</p>
<p>2. 安心・安全な生活を提供していく</p> <p>①安全対策委員会中心にリスクマネジメントの実践と充実（事故予防の視点での個別支援計画を作成する）</p> <p>②車輛、器具機械、設備等の定期的な点検</p> <p>③介護技法を見直し、知識・技術の向上を図り、また福祉機器を導入・活用することで、職員の業務負担軽減、安全介護を徹底する</p> <p>④健康管理、感染症の発生・蔓延防止と発生時の対</p>	<p>○事故発生防止及び事故発生時の対応指針を整備しており、法人として事故報告42件、ヒヤリハット122件出され、安全対策委員会でリスクレベル表に沿って委員会を招集し、対策を検討している。また委員会にてヒヤリハット150件を目標に取り組んだが、目標達成には至らなかった。更に事故分析や評価を毎月行っているが、原因不明や繰り返される事故もあるため、評価・対策の強化に努め</p>

<p>応強化</p> <p>⑤定期的な防災訓練の実施と防犯対策の強化</p> <p>⑥事業継続計画（BCP）に基づく訓練と見直し（自然災害・感染症）</p> <p>⑦安全運転管理の強化（運行前後の車両点検及び目視又はアルコール検知器を用いた点検）</p>	<p>る。また事故予防の視点で、個々にリスクマップを作成し、個別支援計画にて対策を強化している。</p> <p>○車輛、器具機械、設備の点検を定期的実施している。</p> <p>○介護技法の見直しを、利用者の状態変化等が生じた時、新規入所者（3名）の入所時等、多職種と連携を取りながら見直してきた。今後も計画的に見直しを実施し、安全な介護技法の習得に努める。また、福祉機器については現在リフトがメリーホームに4台、ひかりに1台、自立支援型移乗介助ロボットがメリーホームに1台、ひかりに1台、ささえ手リフトがメリーホームに1台、ひかりに1台、介護リフトスマイルがひかりに1台、こだまに1台の計11台で、職員の腰痛予防また安全な介護に努めている。</p> <p>○感染症対策については、マニュアルを見直し、新型コロナウイルス感染防止措置として、ワクチン接種、基本的な感染対策を徹底し、家族の面会場所等の制限については継続し、外出、外泊の制限、施設内行事については規制緩和してきた。職員は、出勤停止期間を見直し、状況に応じ対策をしてきた。その結果、メリーホーム職員8名、利用者3名（延べ数）、ひかり職員4名、利用者1名の感染者が確認されたが、最小限に抑えることが出来た。ゾーニングについても見直し、職員の負担軽減に努めている。今後適宜マニュアル、事業継続計画（BCP）を再度見直し、適切に規制を緩和することで、以前の生活に戻していけるようにし、地域に根差したサービスを提供していく。</p> <p>その他の感染症としては、職員2名がインフルエンザに感染したが、利用者で感染した方はいなかった。</p> <p>○様々な状況を想定し、毎月防災訓練を実施している。また年2回の総合防災訓練を、消防署、消防団、近隣工場の協力を得ながら実施した。更に、小美玉市と災害時福祉避難所として協定を結んでおり、災害時に地域の拠点となるようにしている。防犯に関しては、防犯カメラをメリーホームに7台、ひかりに2台、こだまは1台増設し5台、こだまⅡに4台設置している。その他、メリーホームに警察と連動している非常通報設備や、メリーホーム事務所とひかりに防犯システムが設置してある。防犯訓練は、石岡警察署より、実技を踏まえた訓練を行い、さすまたの設置も行った。</p> <p>○自然災害事業継続計画については、通報訓練、地震を想定した訓練をマニュアルに沿って実施し、事業継続訓練と位置付けている。感染症事業継続計画については、ガウンテクニック等の研修を行っており、感染症蔓延時に、マニュアルの見直しを行っている。今後事業継続計画の訓練と位置付けて実施していく必</p>
---	---

	<p>要がある。</p> <p>○道路交通法の改正により、運行前後の車両点検及び目視又はアルコール検知器を用いた点検が義務化されたため、アルコール検知器を使用し、安全運転管理に努めている。</p>
<p>3. 職員が誇りとやりがいを持ち、安心して気持ちよく働ける環境を目指していく</p> <p>①真の報・連・相を目指し、円滑なコミュニケーションを行う</p> <p>②職員全員がお互いに尊重し合い、ハラスメントを起こさせない雰囲気作り</p> <p>③職種に関わらず、お互いの業務について理解を持ち、連携して支援にあたる</p> <p>④1人で悩まず、みんなで考え、風通しの良い組織づくり</p>	<p>○お互いに情報を共有し合うだけでなく、お互いに共感できるようにすることが必要であり、今後更に円滑なコミュニケーションが必要である。</p> <p>○コミュニケーションや情報共有の重要性を理解し、職場力を高めるため、外部講師を依頼し、施設内研修を行い、組織力向上に努めている。また組織全体でハラスメントを意識しながら接するようにしている。</p> <p>○常勤の新規採用職員に関しては、各部署の研修を実施し、他部署の業務内容を理解してもらっている。その他の職員もお互いに協力し、連携しながら支援している。</p> <p>○組織体制が確立されており、人事考課時また普段の中で上司に相談している。新規採用職員にはプリセプター体制をとり、月1回の面接を行い、メンタル的なケアも出来るようにしている。契約職員については、良好な職場環境作りに関する施設内研修を実施し、意識を高めてきている。</p>
<p>4. 地域と協力し合い地域福祉の増進に努めていく</p> <p>①各事業所との連携強化</p> <p>②地域の福祉教育推進、ボランティアの積極的受け入れ、施設行事への参加呼びかけ</p> <p>③利用者の外出及び社会参加の推進</p> <p>④公益的取組み（緊急一時保護事業、福祉車両貸出事業等）の促進</p> <p>⑤施設入所、生活介護、短期入所、日中一時支援利用者の積極的拡大と、サービス内容の充実</p> <p>⑥施設広報誌の発刊や、ホームページでの情報開示と、その他ブログ等の SNS を活用した情報発信外部への積極的な情報提供</p>	<p>○メリーホームでは、死亡退所3名、新規利用者は3名であった。施設入所待機者が少ないために、各関係機関との連携を強化し、待機者確保に努めていく必要がある。</p> <p>ひかりでは新規利用者2名、退所者2名あり、合計32名の利用がある。また送迎サービスについては、車両4台で実施し、現在16名の利用者が送迎サービスを利用している。活動は作業が充実してきており、作業能力に応じて、評価している。また外部講師による音楽活動やアロマケア、その他の日中活動は創意工夫しながら実施しており充実してきている。こだまでは、新規利用者1名、退所者1名あり、7名の利用者が確保出来ている。活動は個別の外出を感染症予防に留意して実施している。入浴は夏場に夜間シャワー浴を実施し、ニーズに即した支援ができています。今後こだまⅡ開所に向けて利用者、職員の確保に努めていく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防のため、小学校との交流会は行っていない。ボランティアの受け入れについては利用者の余暇活動支援に1名定期的に来てもらっている。また納涼祭・クリスマス会は、規制を緩和し、家族にも参加してもらっている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防に努め、外出支援や野外散策、茨城県スポーツ大会等、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、感染対策を取りながら、外出行事を行っている。今後も、新型コロナウイルスの感染状況を確認し、感染防止に努めながら実施していかねばならない。</p>

	<p>○公益的な取り組みについては、地域の清掃活動を1回実施し、小学校との交流については、新型コロナウイルス感染予防のため実施していないが、地域行事への係員派遣については、小美玉市にっこり祭り、ナイスハートフェスティバルに職員派遣している。緊急一時保護事業で、小美玉市より9件、石岡市より1件の依頼があり、5名の方を受け入れた。その他福祉車輛貸出事業では、延べ38名の利用があった。更に茨城県社会福祉施設経営者協議会が実施する「いばらき生活支援事業」に登録している。今後も社会福祉法人としての役割を果たすため、地域貢献事業を積極的に行っていく必要がある。</p> <p>○施設入所については、待機利用者が少ないため、欠員期間が短期間になるよう、利用者確保に努めていく。生活介護については地域のニーズを把握し、また個々のニーズに対応できるよう活動の充実を図っていく。短期入所に関しては、新型コロナウイルス感染予防策を緩和し実施してきており、利用者数も増加してきている。今後、新型コロナウイルスの感染状況を確認し、感染防止に努めながら実施していかなければならない。今後新型コロナウイルス感染防止策の緩和をしながら、在宅・地域福祉に貢献できるようサービスの充実、利用者確保に努めていく必要がある。</p> <p>○定期的に広報誌を発刊し、ホームページやワムネット等を活用し情報開示に努めている。またホームページのブログを充実させ、コロナ禍における利用者の状況を伝えられるよう工夫している。今後外部からも情報収集に努め、積極的に情報開示に努めなければならない。</p>
<p style="text-align: center;">事業運営計画</p>	<p style="text-align: center;">評 価</p>
<p>1. 利用者個々のニーズにあったサービス提供</p> <p>①利用者参画のもと個別支援計画を作成し、各部署間での連携・情報共有を密にし、質の高い生活を送れるようにする。また、地域移行の意思確認を行っていく。</p> <p>②利用者個々の尊厳を尊重し、プライバシーや羞恥心等に配慮した支援を行い、完全同性介護について検討していく。</p> <p>③季節感のある献立、選択食のより一層の充実を図り、栄養量、栄養バランスを考慮し、衛生管理を徹底することで、安心・安全な食事を提供する。また施設入所事業では、栄養マネジメントにより、個々にあった栄養管理を行っていく。</p> <p>④個別リハビリ計画を作成し、機能の維持・回復、更には残存機能を最大限活用していけるように、関係職種と協同しながら取り組んでいく。また日常生活の一環として行えるよう努めていく。</p> <p>⑤利用者個々の健康状態を常に把握し、医療機関と連携を取りながら、疾病の早期発見、早期治療に努め、入院することなく生活できるように努める。また健康維持増進のための情報提供を行い、その必要性を理解していただけるよう努める。</p>	<p>○個別支援計画は、利用者も支援会議に参加し、所定の手順に従って作成されている。また毎月評価を行い、プランの実践や必要に応じた見直しに努めている。記録についてはパソコンで記録し、情報が共有され、支援の統一化を図っている。今後、地域移行も含めて、利用者の意思決定支援について指針等を整備し、意思決定が困難な利用者に対して適切に意思決定ができるようにしていかなければならない。</p> <p>○プライバシーや羞恥心については、カーテン等で配慮している。また、個々のプライバシーに関することを話す時は、場所をわきまえて話すように心がけている。同性介護について、メリーホームの入浴については実施出できているが、ひかりでは実施できていない。排泄等については完全には出来ない状況である為、利用者の意思を尊重した支援を検討していく必要がある。</p> <p>○選択食を12回、バイキングを1回実施したが、野外食については天候不良にて未実施であった。今後より一層楽しく、変化のある内</p>

<p>⑤豊かに、有意義に楽しく生活していくために、一人一人の余暇の過ごし方、また様々な役割を果たし、承認される喜びが得られるよう、積極的に支援していく。</p>	<p>容にしていく必要がある。また、ハサップに基づいて衛生管理を行い、安心・安全な食事を提供している。栄養管理について、前期はできなかったが、後期より栄養ケアマネジメントにより行った。また、リスクの高い利用者に関しては、各部署と連携し個別支援計画にて対策を講じてきた。</p> <p>○リハビリ計画書を作成し、利用者、家族から承諾を得ている。また定期的に状態確認等を行い、日々のリハビリも、各職種で連携を取りながら実施している。今後更に日常生活の中でリハビリを意識しながら取り入れていく必要がある。</p> <p>○入院実人員11人、延177日と昨年度より2名、115日減少している。今後も普段の利用者の状態を把握し、些細な変化も見逃さないよう、各部署連携を取りながら、早期発見に努め、医療機関との連携を密にしていく。また、施設内だけでなく、適度な運動や、屋外に出ることの重要性を説明し、積極的な支援をし、健康維持増進を図っていく。</p> <p>○日中活動については、各種クラブ活動を計画的に実施し、個別支援計画のもと、個々の余暇活動を支援している。ひかりでは軽作業を積極的に取り組んでおり、その他の日中活動も創意工夫しながら取り組んでいる。</p>
<p>2. 職員の資質向上と人材確保・定着</p> <p>①創意と工夫にあふれたサービスの提供が出来るように、豊かな発想、多様な視点で業務にあたり、知識・技術・能力の向上に努める。</p> <p>②施設内・施設外研修を計画的に行っていく。</p> <p>③各種研修会への参加、資格等の取得等自己研鑽に努めていく。</p> <p>④人事考課制度を充実させ、意図的・計画的に職員を育成していく。</p> <p>⑤役割を遂行し、会議、委員会等を充実させ、サービスの充実を図っていく。</p> <p>⑥福祉機器等を活用し、腰痛予防に努め、腰痛検診を2回/年実施する。</p> <p>⑦職員の心身のリフレッシュのため、年次有給休暇の取得促進を図る。</p> <p>⑧ストレスチェックを1回/年実施し、職員のストレスの状態を把握し、職場環境完全を図る。</p> <p>⑨多様な働き方ができるよう、職員区分を構築し、働きやすい環境を整える。</p>	<p>○総合的な支援に対する知識・技術・能力の向上を目的に、既存のお茶の水ケア学院と新たにDo-Gaを導入し、階層別に動画を視聴できるよう体制を整えてきた。また各部署連携をとり、多様な視点での支援を行うようにしている。</p> <p>○研修委員会にて、年間の施設内研修の計画を立て、実施している。また、人事考課面接時に希望研修を把握し、オンライン研修を含め、外部研修に参加している。</p> <p>○個々の職員が積極的に資格取得等自己研鑽に励めるように体制を整え、現在メリーホームで社会福祉士6名、介護福祉士18名取得、ひかりで、介護福祉士4名取得、相談支援事業では社会福祉士2名、精神保健福祉士1名取得している。個々の希望研修を把握し、人事考課制度とリンクさせ、自己研鑽に努めている。</p> <p>○面接前に、職員個々の良いところ、改善事項等目標を明確にし、面接を行っている。また評価後にフィードバックし、個々の成長につながるようにしている。</p> <p>○委員会については、支援検討委員会では「クラブ活動の見直し」「食事介助の標準化」、虐待防止委員会では「身体拘束実施時の記録定着について」「虐待防止セルフチェック」「ニヤリハット」「建設的な組織作り」、安全対策委員会では「ヒヤリハット150件」「リスク見積もりと評価基準の活用」「やるべきことがなされなかったための事故を防ぐ取組」給食委員会では「利用者からの意見・要望」「行事食</p>

	<p>内容の周知」「多職種との共有事項の確認」、衛生管理委員会では「ストレスマネジメント」「春バテ」「食中毒」「熱中症」「身体を鍛える」「尿酸について」「感染症」「ストレスマネジメント」「ヒートショック」「ノロウイルス」「腰痛と肩こり」「頭痛」、感染症対策委員会では、「新型コロナウイルス感染症発生時の対策」「感染防止対策マニュアル見直し」と、各委員会の目的に沿って活動してきている。また事故対策が、身体拘束になるケースもあり、合同委員会にて対策を検討している。今後更に取り組み内容を充実させ、各委員会との連携を図りながら、継続的に行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○腰痛検診については年2回実施し、福祉機器も使用しており、更に活用・定着に向けて取り組んでいく必要がある。 ○全職員5日以上年次有給休暇を取得しており、生活支援員については、年間で年次有給休暇取得予定の希望を取り、取得してもらっている。 ○Webでストレスチェックが出来る体制が整えられており、各部署ごとにストレスの状態を把握することが出来るようになっている。今後高ストレス者が多い部署について、対策を講じていかなければならない。 ○正規職員と同等の勤務時間以下で勤務するパートナー職員は、現在いないが、正規職員が定年退職後、再雇用する再任用職員で勤務する職員もおり、多様な働き方ができる環境が整っている。
<p>3. 緊急時対応の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ①常に協力病院と連携を密にし、身体状況等に変化が生じた時には、速やかに医療機関と連携して対応していく。短期入所・日中一仕事については、家族との連携を密にし、必要に応じ医療機関と連携して行く。 ②急変時等には適切な対応が出来るよう、定期的に研修を実施していく。また、急変時の意思確認を行い、人権と生命の尊厳に配慮できるようにしていく。 ③感染症発生時に適切な対応ができるよう、マニュアルを整備し、備蓄品の管理を行っていく。 ④災害発生時に適切な対応ができるよう、防災訓練を実施すると共に、備蓄品の管理を行っていく。また、災害発生時には、行政と連携し、地域の拠点となるように努めていく。 ⑤防犯対策を強化し、不審者等に対する対応を適切に行い、安心・安全に生活できるように努める。 ⑥災害・感染症等発生時、継続的なサービスの提供ができるよう、他事業所との連携に努める。 ⑦事故発生防止及び事故発生時の対応、身体拘束等適正化、虐待防止についての研修を実施し、迅速に対応できるように努める。 ⑧より多くの職員が喀痰吸引等の研修を受講し、速やかに実地研修を行うと共に、介護福祉士資格取得のため、実務者研修を推進し、緊急時も安心して医療的支援が行えるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各部署間で連携を取りながら、身体状況変化の早期発見に努め、医療機関と連携を取りながら適切な治療を行っている。利用者の重度化に伴い、今後更に医療機関との連携と、速やかな対応を強化していく必要がある。在宅の利用者に関しては、新型コロナウイルス蔓延防止のため、利用前に抗原検査を実施し、陰性を確認した上で利用してもらっている。今後も事前に状態を十分に把握すると共に、家族と連携を密にしながらか対応していく。 ○急変時の対応について、小美玉消防署からの研修を実施し、適切に対応ができるよう取り組んでいる。また急変時の対応について意思確認を行っているが、今後定期的な確認を行っていく必要がある。 ○新型コロナウイルス発生時にマニュアルを確認し、訂正事項がある時は適宜修正している。備蓄品についても定期的に確認し、不足が出ないようにしている。 ○定期的に防災訓練を実施し、消防署、消防団、近隣工場等とも連携をとっている。備蓄品も定期的に確認し、入れ替えを行っている。また小美玉市と福祉避難所の協定を結んでおり、地域の拠点となるようにしている。 ○防犯カメラ、非常通報装置を設置し、防犯対策を行っている。また石岡警察署より防犯訓練を実施し、さすまたも整備している。今後

	<p>も定期的に訓練を実施し、防犯意識を高めていく。</p> <ul style="list-style-type: none">○自然災害発生時・新型コロナウイルス発生時の事業継続計画（BCP）について整備はされている。自然災害BCPについては防災訓練時にBCP訓練として位置付けている。今後感染症発生時BCPについても定期的に訓練を行って行くようにしていく。○事故発生防止については、危険予知訓練を実施し、身体拘束・虐待防止に関する内外部研修を実施し、知識・技術が向上してきている。今後も継続していき、研鑽していかなければならない。○メリーホーム経管栄養者11名、痰吸引者7名（内気管切開者2名）、ひかり経管栄養者1名、痰吸引者1名利用している。介護職員等痰の吸引等実施研修に、介護職員2名（特定）が受講し、メリーホーム特定20名・不特定3名、ひかり特定6名の職員が終了している。また指導者については、不特定2名の職員が終了している。今後も継続的に行っていく必要がある。
--	---

令和5年度 たまりメリーホーム実績報告書

【利用者の状況】

≪入所利用者≫

◆ 入退所の状況

- ）前年度からの継続入所者 52名
- ）今年度入所者 3名
- ）今年度退所者 3名 （死亡退所 3名 その他 0名）
- ）月別状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在者数	A	52	51	51	51	52	52	52	52	51	51	52	52	619
月初日の新規入所者数	B	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
入退所者数退所者	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月初日入所者数	D	52	51	51	52	52	52	52	52	51	52	52	52	621
2日以降の新規入所者数	E	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
入退所者数退所者	F	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
月末日在者数(D-C)+(E-F)	G	51	51	51	52	52	52	52	51	51	52	52	52	619

Dの内訳	県内より	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	612
	県外より	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
B・Eの内訳	在宅より	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	他施設より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
C・Fの内訳	死亡	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◆ 外泊・入院状況（減額日数） *外泊・入院の初日・終了日は含まない

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
外 泊	0	10	0	5	23	1	2	1	20	11	2	1	76
入 院	0	17	3	19	19	1	30	35	18	4	19	12	177
合 計	0	27	3	24	42	2	32	36	38	15	21	13	253

◆ 年齢別・性別構成

	25-30 未満	30-35 未満	35-40 未満	40-45 未満	45-50 未満	50-55 未満	55-60 未満	60-65 未満	65-70 未満	70-75 未満	75-80 未満	80歳 以上	計
男	0	4	3	0	4	1	3	4	5	1	1	0	26
女	0	2	4	2	1	4	4	3	2	4	0	0	26
計	0	6	7	2	5	5	7	7	7	5	1	0	52

◎平均年齢等

	最小年齢		最高年齢		平均年齢	
男	30歳	3ヶ月	76歳	8ヶ月	53歳	7ヶ月
女	30歳	11ヶ月	74歳	2ヶ月	53歳	9ヶ月

◆ 在所期間

	1年 未満	1-2 未満	2-3 未満	3-4 未満	4-5 未満	5-6 未満	6-7 未満	7-8 未満	8-9 未満	9-10 未満	10年 以上	計
男	1	1	1	1	3	1	3	1	2	1	11	26
女	2	0	1	2	0	1	1	3	3	0	13	26
計	3	1	2	3	3	2	4	4	5	1	24	52

◆ 親族等の状況

	① 配偶者	② 親	③ 子供	④ 兄弟姉妹	⑤ ①~②以外 の親族	⑥ 知人のみ	⑦ 身寄り無	⑧ 不明	計
男	2	14	1	7	1	0	1	0	26
女	2	17	1	5	1	0	0	0	26
計	4	31	2	12	2	0	1	0	52

◆ 入所前の状況

	家庭					福祉施設			医療機関			その他	計	
	親と同居	配偶者と同居	子供と同居	その他の親族と同居	独居	その他	児童施設	身体障害者施設	知的障害児者施設	その他の福祉施設	一般病院	精神病院		その他
男	10			0			8	1		7	0	0	0	26
女	17		1	2			1	1		4	0	0	0	26
計	27	0	1	2	0	0	9	2	0	11	0	0	0	52

◆ 障害等級別人員

	1級	2級	その他	計
男	19	4	3	26
女	21	5	0	26
計	40	9	3	52

◆ 障害支援区分別人員

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	0	5	21	26
女	1	0	2	23	26
計	1	0	7	44	52

◆ 障害福祉サービス支給市町村

市町村	小美玉市	日立市	つくば市	潮来市	牛久市	土浦市	常陸太田市	ひたちなか市	石岡市	取手市
利用者数	2	1	4	2	2	5	1	1	12	1

市町村	鹿嶋市	常陸大宮市	那珂市	かすみがうら市	筑西市	行方市	鉾田市	笠間市	阿見町
利用者数	2	1	1	2	0	3	3	2	2

市町村	茨城町	大子町	東海村	神栖市	県外
利用者数	1	1	1	1	1

◆ 施設入所延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	780	815	807	834	817	810	807	745	773	798	735	794	9,515
女	750	742	720	754	753	748	773	750	770	799	752	805	9,116
計	1,530	1,557	1,527	1,588	1,570	1,558	1,580	1,495	1,543	1,597	1,487	1,599	18,631

◆ 生活介護実利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	28	28	29	29	29	29	30	28	28	28	27	27	340
女	25	26	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	306
計	53	54	55	55	55	55	56	53	53	53	52	52	646

◆ 生活介護延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	601	629	625	648	637	620	633	581	618	623	556	621	7,392
女	550	581	553	590	598	572	586	550	575	575	525	575	6,830
計	1,151	1,210	1,178	1,238	1,235	1,192	1,219	1,131	1,193	1,198	1,081	1,196	14,222

◆ 障害原因別等人員

	25-30		30-35		35-40		40-45		45-50		50-55		55-60		60-65		65-70		70-75		75歳以上		合計			比率		
	未満		未満		未満		未満		未満		未満		未満		以上		未満		以上		計							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計			
脳性まひ			1	2	2	3	0	1	1	1	0	0	3	3	2	0	1	1	0	1	1	0	1	0	11	12	23	44%
脳血管障害							0	1					0	1	1	0	1	0	0	1					2	3	5	10%
脊椎損傷等																	2	0	0	1					2	1	3	6%
筋ジストロフィー																	0	1							0	1	1	2%
脳炎後遺症					0	1																			0	1	1	2%
頭部外傷										1	3			0	1										1	4	5	10%
日本脳炎																			1	1					1	1	2	4%
関節性硬化症			1	0					1	0															2	0	2	4%
低酸素脳症					1	0					0	1													1	1	2	4%
てんかん					1	0			1	0				0	1										2	1	3	6%
熱中症後脳症									1	0															1	0	1	2%
膠原病														0	1										0	1	1	2%
ダウン症			1	0																					1	0	1	2%
その他														1	0	1	0								2	0	2	4%
																									0	0	0	0%
計	0	0	3	2	4	4	0	2	4	1	1	4	3	4	4	3	5	2	1	4	1	0	26	26	52			

◆ 言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害			知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	有のうちトロミ使用	
男	6	20	0	14	12	9	16
女	4	22	1	10	16	9	21
計	10	42	1	24	28	18	37

◆ 医的ケアの状況

	経管栄養者	吸引実施者
男	3	3
女	8	5
計	11	8

◆ 日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自立	5	20	14	7	2	6	5	3	2	6
一部介助	18	3	14	9	23	3	2	8	5	8
全面介助	29	29	24	36	27	43	45	41	45	38

◆ 移動手段の状況

歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
1	3	0	49	0

◆ 車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
4	44	3	45	0

【支援の実績】

◆ 事業・行事等の実施状況

4	創立記念日 観桜会・カラオケ大会	利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
5	端午の節句 ゲーム大会			誕生会
6			外出支援	散髪 誕生会
7	七夕祭		散歩会 外出支援	散髪 誕生会
8	納涼祭		外出支援	誕生会
9		利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
10	運動会 焼き芋大会		外出支援	散髪 誕生会
11			外出支援	散髪 誕生会
12	ナイスハートフェスティバル クリスマス会		外出支援	散髪 誕生会
1	新年会	利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
2	節分祭 ゲーム大会		外出支援	散髪 誕生会
3	雛祭り		外出支援	散髪 誕生会
その他	水質調査(5月・11月)			

◆ 余暇活動の実施状況 <入所者>

名 称	参加人員 (内)実人員			開催状況	実施回数	実施内容
	男	女	計			
レクリエーション	612 (21)	301 (21)	913 (42)	月11.2回	134	オセロ、ストラックアウト、テーブルテニス、ボール・風船遊び、散歩等
作品制作	178 (6)	55 (4)	156 (25)	月4.75回	47	グループでの作品制作 押し花
カラオケ	432 (16)	222 (18)	654 (34)	月4.2回	50	カラオケ
リラクゼーションクラブ	107 (14)	254 (16)	361 (30)	月4.08回	49	スノーズレン
			0 (0)			

◆ 余暇活動(料理クラブ)の実施状況

月	参加人員	実施内容	備 考
4	0	年間計画作成	
5	18	マカロニきなこ(軟菜は黒蜜きなこゼリー)	
6	21	どら焼き(軟菜は蒸しパンあんこがけ)	
7	13	豆乳くずもち	
8	49	かき氷	
9	17	アメリカンドッグ	
10	20	クレープ(軟菜はバナナチョコパン)	
11	11	麩のお汁粉(軟菜はくずもちのお汁粉)	
12	15	パフェ	
1	13	焼かないスイートポテト	
2	15	チョコレートフォンデュ	
3	13	(常)マカロニスティック・ホットチョコレートミルク(軟)きなこチーズケーキ	
計	205		

◆ 外出支援の実施状況(メリーホーム)

月	延べ人員	実施内容
4	9	石岡周辺ドライブ(花見)
5	2	ウェルサイト石岡
6	2	セブンイレブン運動公園前
7	2	セブンイレブン運動公園前
8	2	ウェルサイト石岡
9	2	ココス石岡店
10	2	ピアシテイ石岡
11	3	コメダ珈琲
12	3	三洋堂書店
1	1	ウェルサイト石岡
2	3	スターバックスコーヒー
3	3	ココス玉里店
計	34	

◆ テイクアウトの実施状況(メリーホーム・こだま)

月	延べ人員	実施内容
4	21	シャノワール
5	24	魚べい
6	19	ガスト
7	11	パーミヤン
8	20	吉野家
9	13	ケンタッキー
10	15	オリーブの丘
11	16	魚べい
12	13	やよい軒
1	16	とんかつ漫遊亭
2	13	幸楽苑
3	16	吉野家
計	197	

◆ 散髪の実施状況 (施設内)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	備 考
男	14	9	11	10	12	12	10	11	10	11	10	16	136	
女	7	8	7	9	10	9	3	10	9	6	9	5	92	
計	21	17	18	19	22	21	13	21	19	17	19	21	228	

◆ 入浴実施状況

◇ 入所利用者（男性入浴日：月・木曜日（特浴）、火・金曜（一般） 女性入浴日：月・木（一般）、火・金曜日（特浴）
（7月～9月の水曜日は男女隔週で入浴）

月	実施日数	対象人員	延人員 (清拭者含む)	一人当たり 月平均 入浴回数	一人一週 当り平均 入浴回数	実施日1日 当りの 入浴人員	清 拭 延人員	備 考
4	16	52	408	7.8	1.8	25.5	14	
5	18	52	450	8.7	2.0	25.0	7	
6	18	51	455	8.9	2.1	25.3	9	
7	20	52	495	9.5	2.2	24.8	3	
8	21	53	510	9.6	2.2	24.3	4	
9	19	52	479	9.2	2.1	25.2	8	
10	18	52	457	8.8	2.1	25.4	13	
11	17	51	427	8.4	2.0	25.1	11	
12	17	51	414	8.1	1.9	24.4	12	
1	18	51	455	8.9	2.1	25.3	14	
2	17	51	433	8.5	2.0	25.5	11	
3	17	51	435	8.5	2.0	25.6	6	
計	216	619	5418	8.8	2.0	25.1	112	

※計算式 ① 一人当たり月平均入浴回数 : 入浴延人員/対象人員
 ② 一人一週当り平均入浴回数 : 一人当たり月平均入浴回数×7日/30日
 ③ 実施日一日当り入浴人員 : 入浴延人員/入浴実施日数

◆ リハビリテーション実施状況

◇ 理学療法士・言語聴覚士・作業療法士による訓練等（入所利用者・短期入所利用者・在宅者）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
理学療法士	回数	23	26	25	23	24	26	23	25	26	25	23	23	292
	人員	217	230	220	242	217	216	208	197	192	210	203	200	2552
言語聴覚士	回数	2	2	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	8
	人員	4	8	1	0	0	0	1	5	0	1	0	0	20
作業療法士	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇ 実施状況 <理学療法> (入所利用者・短期入所利用者等を含む)

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り 参加人員	備 考 (訓練内容等)
	PTIによる	PTIによる		PTIによる	PTIによる		
4	11	23	52	39	217	7.5	座位保持訓練 起立訓練 立位保持訓練 関節可動域訓練 歩行訓練 床上動作訓練 車椅子移乗訓練 車椅子駆動訓練 補装具等装着訓練 筋力維持増強訓練
5	13	26	52	52	230	7.2	
6	12	25	51	43	220	7.1	
7	11	23	52	50	242	8.6	
8	13	24	52	63	217	7.6	
9	12	26	52	52	216	7.1	
10	14	23	51	61	208	7.3	
11	11	25	51	56	197	7.0	
12	11	26	51	46	192	6.4	
1	11	25	51	55	210	7.4	
2	12	23	51	57	203	7.4	
3	11	23	51	55	200	7.5	
計	142	292	617	629	2552	88.1	

◇ 実施状況 <言語リハビリテーション> (入所利用者・短期等を含む)

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り 参加人員	備 考 (訓練内容等)
	STIによる	STIによる		STIによる	STIによる		
4	0	2	3	0	4	2.0	言語訓練 口腔ケア 摂食・嚥下訓練
5	0	2	8	0	8	4.0	
6	0	1	1	0	1	1.0	
7	0	0	0	0	0	0.0	
8	0	0	0	0	0	0.0	
9	0	0	0	0	0	0.0	
10	0	1	1	0	1	1.0	
11	0	1	5	0	5	5.0	
12	0	0	0	0	0	0.0	
1	0	1	1	0	1	1.0	
2	0	0	0	0	0	0.0	
3	0	0	0	0	0	0.0	
計	0	8	19	0	20	14.0	

◇ 実施状況 <作業療法> (入所利用者・短期等を含む)

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り 参加人員	備 考 (訓練内容等)
		OTによる			OTによる		
4	3	0	1	3	0	1.0	グループ活動 個別余暇活動 日常生活動作訓練
5	3	0	1	3	0	1.0	
6	1	0	1	1	0	1.0	
7	3	0	1	3	0	1.0	
8	5	0	1	5	0	1.0	
9	7	0	1	7	0	1.0	
10	12	0	1	12	0	1.0	
11	10	0	1	10	0	1.0	
12	18	0	1	18	0	1.0	
1	19	0	1	19	0	1.0	
2	19	0	1	19	0	1.0	
3	13	0	1	13	0	1.0	
計	113	0	12	113	0	12.0	

◆ 健康管理の状況(入所・通所・GH)

◇ 利用者医療の状況

区 分	施設内医務室		入 院			通 院		
	実人員	延人員	実人員A	延人員B	平均 B/A	実人員A	延人員B	平均 B/A
内科系	6	434	4	108	20.1	3	3	1.5
外科系	11	5,108	4	56	19.3	28	61	1.8
整形外科系	0	0	1	1	35	4	8	4
耳鼻咽喉科系	4	909	0	0	0	3	15	1.5
眼科系	6	708	1	1	0	1	8	6.5
皮膚科系	6	2,040	0	0	0	0	0	1
泌尿器科系	2	24	1	11	9	2	7	1
婦人科系	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科系	0	0	0	0	0	1	4	9
神経内科系	0	0	0	0	0	1	4	3
歯科系	0	0	0	0	0	6	15	1.4
その他	35	4,818	0	0	0	1	12	0
合計	79	14,041	11	177	19.5	50	137	2

◇ 施設外医療の状況

医療機関名	延通院日数	延入院日数
山王台病院	94	1
山王台病院附属眼科・内科クリニック	8	1
山王台病院第1クリニック(アネックス)	0	0
山王台病院第2クリニック(アネックス)	15	159
土浦協同病院	0	0
県立医療大学	0	0
つくば病院	4	0
友部整形外科医院	4	0
富田婦人科	0	0
水戸済生会病院	12	16
県立中央病院	0	0
小美玉医療センター	0	0
合計	137	177

◇ 健康診断実施状況(利用者)

期 日	人員	検 査 内 容	実施状況
令和5年4月	52名	身長、体重、視力、血圧、血液検査、尿検査 胸部レントゲン検査、心電図検査、その他 歯科健診、中止。	
令和5年	51名	尿検査、血圧測定	
令和6年2月	51名	腸内細菌検査(検便)	
その他		血圧測定(毎月)、体重測定(毎月)	定期的に全員に実施すると共に、必要に応じ随時実施。

◇ 健康診断実施状況(職員)

期 日	人員	検 査 内 容	実施状況
令和5年5月	71名	身長、体重、視力、聴力、腹囲、血圧、血液検査、尿検査 胸部レントゲン検査、心電図検査、 腰痛健診⇒腰部レントゲン検査(医師が必要と認めたもの対象)	腰痛健診のみ5月に施行。
令和5年11月	29名	血圧、尿検査、その他	
令和5年02月~3月	71名	腰痛健診⇒腰部レントゲン検査(医師が必要と認めたもの対象) 腸内細菌検査(検便)⇒調理業務従事職員(毎月実施)	

◇ 健康保険等

健康保険等の種類		男	女	計	備 考
国民健康保険	医療福祉受給	16	18	34	
	老人医療受給	7	6	13	
	その他	0	0	0	
社会保険等	医療福祉受給	2	2	4	
	老人医療受給	0	0	0	
	その他	0	0	0	
生活保護(医療扶助)	1	0	1		
その他	0	0	0		
計		25名	26名	52名	

◆ 給食実施状況 (入所利用者・通所利用者・GH利用者)

◇ 栄養量(一人当り平均)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	Ca mg	脂肪 g	鉄 mg	VA μg	VB1 mg	VB2 mg	VC mg
基準	1600	58.2	581	52.6	6	580	1.05	1.16	84
実績	1540	57.3	599	45	8.7	585	0.9	0.84	85

◇ 摂取量(一人当り)

穀類	芋類	魚介類	獣鶏肉類	卵類	乳類	豆類	野菜類	海藻類	果実類	油脂類	砂糖及び甘味料	その他の食品
216	32	74	63	25	84	42	316	8	42	6	6	106

◇ 給食材料費(一人当たり)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
金額	1039	993	1087	995	1147	1088	1193	1159	1387	999	1119	1103	1109

◇ 食事形態別提供状況 (3月31日現在)

主食	主菜・副菜		軟菜	ミキサー	経管栄養	合計		
	常菜							
飯	23	5	0	0	26			
粥	0	11	2	0	13			
経管栄養	0	0	0	11	11			
合計	23	16	2	11	52			

◇ 提供食数

	朝食	昼食	夕食	合計
4月	1,820	2,158	1,788	5,766
5月	1,891	2,254	1,858	6,003
6月	1,878	2,221	1,841	5,940
7月	1,907	2,253	1,905	6,065
8月	1,901	2,239	1,873	6,013
9月	1,876	2,196	1,832	5,904
10月	1,894	2,205	1,863	5,962
11月	1,803	2,125	1,767	5,695
12月	1,837	2,189	1,829	5,855
1月	1,862	2,226	1,840	5,928
2月	1,728	2,109	1,733	5,570
3月	1,868	2,263	1,875	6,006
合計	22,265	26,438	22,004	70,707

◇ バイキング食の実施状況

期日	内容
5月19日	おにぎりバイキング(4種)

◇ 栄養ケアマネジメントの状況(3月31日現在)

- 療養食提供 2名(糖尿病食)
- 栄養リスク 高リスク 2名 中リスク 19名 低リスク 31名

◇ 選択食実施状況

月日	献立内容	月日	献立内容
7/15	白身フライ	23	コロッケ
8/31	しゅうまい	32	ぎょうざ
9/5	鮭塩こうじ焼き	32	焼きししゃも
10/12	鯖塩焼き	14	カレー煮付け
19	塩ラーメン	29	豚骨ラーメン
23	肉しゅうまい	29	カニしゅうまい
31	豚香味焼き	10/27	唐揚げ
11/1	焼きイカ	11/1	鱈の蒸し煮
12/26	タコ飯	12/26	きのこご飯
12/22	イカのねぎ味噌焼き	13	白身魚のねぎ味噌焼き
2/3	鰯の丸干し	5	いわしのみぞれ煮
3/9	焼きシヤモ	10	白身魚の煮魚

◇ 行事食

実施日 月 日	行事名	献立内容	備考
4	1 創立記念日	赤飯、すまし汁、マグロの刺身、金平ごぼう、菜の花のお浸し、フルーツ、牛乳	
	4 観桜会・メリー会	五目焼きそば、春雨スープ、シャウエッセン、ツナサラダ、プリン、ジュース	
5	3 端午の節句	ちらし寿司、すまし汁、天ぷら、ごぼうサラダ、フルーツ、牛乳	
	19 メリー会	おにぎり(ゆかり・味噌・昆布・鮭)、すまし汁、マグロカツ、オムレツ、さつま芋のオレンジ煮、中華サラダ、ごまプリン、ジュース	
6	9 メリー会	赤飯、すまし汁、天ぷら(きす・南瓜・茄子・ピーマン・蓮根)、マグロの刺身、酢の物、抹茶プリン、ジュース	
7	7 七夕	七夕そうめん、野菜かきあげ、舞茸とキノコのマリネ、フルーツ、牛乳	
	10 メリー会	太巻き寿司、稲荷ずし、すまし汁、ポテトサラダ、アイスクリーム、ジュース	
	30 土用の丑の日	うなぎ丼、すまし汁、中華風冷奴、アスパラの胡麻和え、漬物	
8	2 メリー会	混ぜご飯、すまし汁、鶏の唐揚げ、じゃが芋の煮物、胡瓜の昆布和え、ごまプリン、ジュース	
	20 メリー祭	たこ焼き、唐揚げ、焼きそば、フランクフルト、フライドポテト、胡瓜の漬物、カットパイ、大判焼き、ポップコーン、かき氷、ドリンク	
9	1 防災訓練の日	カレーライス、ポタージュスープ、トン角大根、バナナ	
	8 メリー会	ちらし寿司、のっぺい汁、ささみのチーズフライ、エビフライ、大根の梅肉和え、プリン、ジュース	
	18 敬老の日	栗ごはん、すまし汁、天ぷら、生揚げの野菜あんかけ、ようかん	
	22 秋分の日	ごはん、すまし汁、かじきの西京焼き、ポテトサラダ、金平ごぼう、豆乳プリン	
10	4 運動会	幕の内弁当、豚汁、かき氷	
	13 メリー会	ご飯、きのこ汁、マグロの刺身、天ぷら(茄子・南瓜・舞茸)、茶碗蒸し、水ようかん、ジュース	
11	10 メリー会	ご飯、コンソメスープ、デミグラスハンバーグ、えびのサラダ、プリン、ジュース	
12	10 クリスマス会	デニッシュパン、チキンライス、シチュー、エビフライ、フライドポテト、ローストビーフ、ほうれん草のキッシュ、刺身(マグロ・サーモン・甘エビ)、サーモンマリネサラダ、プチ	
	18 メリー会	赤飯、けんちん汁、天ぷら(きす・さつま芋・茄子・舞茸)、茶碗蒸し、漬物、ようかん、ジュース	
	22 冬至	ご飯、みそ汁、いかのねぎ味噌焼き又は白身魚のねぎ味噌焼き、冬至南瓜、めかぶとろろ	
	25 クリスマス	シーフードピラフ、ビーフシチュー、グリーンサラダ、ショートケーキ	
	31 年越し	年越しそば、パン、さつま芋しるこ	
1	1 元旦	ご飯、酒粕汁、しめさば、なます、高野豆腐の煮物、栗きんとん、ゼリー	
	2	お雑煮、松風焼き、煮しめ、数の子、牛乳かん	
	5 メリー会	稲荷ずし、すまし汁、かき揚げ、オクラと湯菜のお浸し、プリン、ジュース	
	7 七草	七草粥、みそ汁、おからのつくね焼き、イカと里芋の煮物、ツナとセロリの和え物	
	8 成人の日	赤飯、澄まし汁、鶏天、金平ごぼう、フルーツ	
	15 小正月	小豆粥、味噌汁、肉豆腐、茶碗蒸し、もずく酢	
2	3 節分の日	太巻き寿司、すまし汁、鰯の丸干し、ポテトサラダ	
	9 メリー会	ご飯、すまし汁、刺身(マグロ・いかそうめん)、蓮根と南瓜のそぼろがけ、柚子大根、プリン(黒蜜きなこがけ)、ジュース	
3	3 ひな祭り	ちらし寿司、すまし汁、枝豆のかき揚げ、菜の花のお浸し、ようかん	
	15 メリー会	五目稲荷、すまし汁、チキン南蛮、切干大根の酢の物、ムース、ジュース	
	30 観桜会	筍ごはん、豚汁、鱈の西京焼き、蓮根サラダ、フルーツゼリー、さくら饅頭、ジュース	

利用者預り金個人別内訳表(預金)

令和6年3月31日現在

氏名	年度当初残高	受け入れ額	払い出し額	年度末残高	内普通預金	内定期預金	内定期積金	備考
	2,303,604	1,166,994	1,092,101	2,378,497	1,378,497	1,000,000	0	
	2,719,240	641,129	975,192	2,385,177	1,385,177	1,000,000	0	
	128,444	1,202,888	1,020,183	311,149	311,149	0	0	
	1,179,824	1,166,978	826,860	1,519,942	1,519,942	0	0	
	1,137,134	1,434,212	1,355,097	1,216,249	296,249	730,000	190,000	
	4,078,242	1,064,517	780,277	4,362,482	2,862,482	1,500,000	0	
	703,191	853,580	653,927	902,844	902,844	0	0	
	0	1,638,807	453,764	1,185,043	1,185,043	0	0	
	3,196,902	1,068,599	762,144	3,503,357	3,001,995	501,362	0	
	6,398,428	1,479,379	762,935	7,114,872	5,114,872	2,000,000	0	
	3,001,286	1,166,993	847,177	3,321,102	3,321,102	0	0	
	2,085,583	1,066,985	865,401	2,287,167	2,287,167	0	0	
	795,262	700,005	878,048	617,219	617,219	0	0	
	4,930,489	1,167,022	893,250	5,204,261	3,704,261	1,500,000	0	
	12,667,884	966,771	892,922	12,741,733	741,733	12,000,000	0	
	13,431	130,000	66,717	76,714	76,714	0	0	
合計	45,338,944	16,914,859	13,125,995	49,127,808	28,706,446	20,231,362	190,000	

利用者預り金個人別内訳表 (現金預り金)

(令和6年3月31日現在)

氏名	年度当初残高	年度間受入額	年度間払出額	年度末残高
	13,281	55,712	57,969	11,024
	8,644	25,000	21,453	12,191
	4,386	50,000	46,857	7,529
	4,386	50,000	46,857	7,529
	7,220	69,000	72,855	3,365
	2,654	91,692	83,524	10,822
	4,732	36,800	34,563	6,969
	9,413	20,000	21,468	7,945
	10,503	22,000	27,291	5,212
	11,183	5,000	10,277	5,906
	11,691	62,150	68,296	5,545
	0	10,000	7,050	2,950
	3,720	46,082	44,621	5,181
	7,384	25,000	28,093	4,291
	6,320	20,000	18,377	7,943
	3,922	30,000	29,004	4,918
	5,861	55,000	55,401	5,460
	7,559	18,000	17,727	7,832
	8,193	50,000	50,977	7,216
	726	145,957	114,636	32,047
	4,793	45,000	42,875	6,918
	3,181	250,485	245,121	8,545
	5,693	32,810	27,375	11,128
	0	60,000	48,443	11,557
	10,007	10,000	15,626	4,381
	5,936	5,000	6,200	4,736
	7,608	68,000	70,748	4,860
	11,203	31,000	26,940	15,263
合計	180,199	1,389,688	1,340,624	229,263

◇ 消防防災関係実施状況

月	内 容	参加者	消防署への届出の有無
4	避難訓練、指揮訓練、通報訓練、設備器具（22:00 出火想定）	利用者、職員	有
5	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（18:45 出火想定）	利用者、職員	有
6	総合訓練（19:15 出火想定）	利用者、職員 消防署	有
7	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（23:00 出火想定）	利用者、職員	有
8	非常召集（19:00 出火想定）	職員	無
9	避難訓練、指揮訓練、通報訓練、設備器具（20:00 出火想定）	利用者、職員	有
10	地震時の訓練、部分訓練（14:46 地震想定）	職員	有
11	総合訓練（18:30 出火想定）	利用者、職員 消防署	有
12	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（AM2:00 出火想定）	利用者、職員	有
1	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（19:10 出火想定）	利用者、職員	無
2	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（21:00 出火想定）	利用者、職員	有
3	地震時の訓練、部分訓練（18:50 地震想定）	利用者、職員	有

◇ 委員会取り組み内容

支援検討研究委員会	①【クラブ活動の見直し】参加率の向上と内容見直し ②【食事介助における支援の標準化】個別に食事介助における注意点をまとめた表を作成し、各テーブルに掲示
虐待防止委員会	①身体拘束に関わる記録記載有無のチェック②スピーチロックへの理解と浸透③ニヤリホットの必要性和理解、浸透による共有化④建設的な意見が言い合える組織作り⑤虐待防止の意識を高められるよう、自己診断を通し自分自身の状況を知り、自己改善につなげる
安全対策委員会	①ヒヤリハット目標150件を掲げ事例を増やす②リスク見積もり、評価基準の活用③やるべき事がやられておらず、事故につながる事例を防ぐ為にアンケート後実施書の見直し
衛生管理委員会	①ストレスマネジメント②春バテ③食中毒④熱中症⑤身体を鍛える⑥尿酸について⑦インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症⑧ストレスマネジメント⑨ヒートショック⑩ノロウイルス⑪腰痛と肩こり⑫頭痛
給食委員会	①利用者からの意見・要望②行事食内容の周知③他職種との共有事項確認④問題提起
感染症対策委員会	新型コロナウイルス感染症発生時対策、感染防止対策マニュアル見直しについて

◇ 会議等の開催状況

会議等名称	開催状況	会議等名称	開催状況
職員会議	12	防火管理委員会	11
代表者会議	12	環境整備委員会	6
給食会議	12	支援検討委員会	12
ワーカー会議	3	虐待防止委員会	12
ケース会議	68	安全対策委員会	12
栄養会議	12	感染症対策委員会	3
衛生管理委員会	12	合同委員会	2

◇ 実習受入状況

年間実人員	1	名
年間延人員	24	名
受入学校	1	校

学校名	期 間	日 数	人 員	延人員	備 考
茨城キリスト教大学	8 月 7 日 ~ 9 月 13 日	24	1	24	

◇ 創意・工夫・改善の内容

	創意・工夫・改善の内容	創意・工夫・改善結果
事務	感染症対策	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症マニュアルを見直し、適切に規制緩和を行うことにより、事業継続ができ、感染症が蔓延することもなかった。
医務	受診、採血予定表の作成	受診、採血表の作成により、指示抜け等のミスは軽減している。が、チェックの抜けも多く、完全に指示抜けを防ぐ事はできなかった。今度は表の活用に申し送りプラスする事により、指示抜けを完全に防いでいきたい。
支援員	ミドルリーダーの確立	組織活性化のため、中堅職員よりも経験年数を重ねている職員をミドルリーダーとし、職場の雰囲気改善、コミュニケーション不足を課題とし、挨拶や会話などに行動指針を設け、積極的に取り組み行動している。開始当初の受け手の反応は恥ずかしそうであったが、徐々に定着していく中で、日常的に取り組みられるようになり、挨拶一つで相手の表情に笑みが生まれ、その後のコミュニケーションに繋がりがやすくなるなど、ゆっくりではあるが着実に職場の雰囲気改善、風通しの良い職場環境作りができている。
	同性介助の強化	利用者の配置において、男性利用者がA棟に移動したことで、同性介助支援に一步近づくことにつながった。・女性の洗濯当番が、男性利用者の脱衣場に入らなくていいよう、脱衣場職員が洗濯物を定期的に洗濯場に運ぶことで、同性介助支援につながった。
	排泄時間の見直し	午前中の排泄を見直し、10時の排泄介助が不必要な利用者は見なくした。そうしたことで、クラブへの参加率につながった。
	消毒ボトル	食堂で使用す消毒スプレーの補充で、医務室まで取りに行くことが負担で、食堂手洗い場の下に置くことにした。業務や負担軽減になった。
こだま	感染症に係る対策及びまん延防止	年間を通じて、他事業所にて利用者職員含め、感染症罹患者が発生し、感染拡大が懸念されることが何度もあった。事業所内の感染対策を実施するとともに、体調に不安がある職員は検査を実施する、勤務変更をするなどして対策を行った。結果、事業所内での感染発生はなく、利用者の安全を確保しながら、運営を継続することができた。
	新規利用者の受け入れに係る支援	数年ぶりの利用者の入替があったが、新規利用者に関して、すでに他事業所の利用中ということもあり、事前準備を含め、入居までスムーズに進めることができた。入居に際して、本人の不安も少なく、他利用者ともある程度関係性ができていたこともあり、職員も安心して介入できている。
給食	ソフトムース食の統一化	咀嚼・嚥下困難者に対し、各麺調理(そば・うどん・ラーメン)に適したトロミ剤配合量をまとめ栄養会議で実習をし周知を図った。誰もが取り組みやすくなった。
ひかり	家庭環境の変化への対応	主たる介護者の年齢層が高くなるなど、様々な理由により利用の仕方に変化が出てきた(ショートステイ利用者増加)。随時相談・報告により利用しやすい生活介護に取り組んだ。
	在宅介護軽減のための取り組み	体重増に伴い介護者の負担軽減を図る。継続していた支援を家族の承諾の元、変更を図り、体重減少を目指した。成果あり。
	動線の見直し	物品の配置を見直し、動線上に必要な物品があるようにした。職員の動きの無駄の軽減を図れた。

◆短期入所事業実績

◇契約状況

	男	女	合計
障害者	14	19	33
障害児	3	1	4
計	17	20	37

◇延べ利用人員

短期入所(延利用者)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	34	60	68	68	82	74	81	89	75	65	61	84	841
	女	138	161	182	160	156	149	140	125	133	124	116	115	1,699
	計	172	221	250	228	238	223	221	214	208	189	177	199	2,540
障害児	男	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	2	10
	女	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	2	13
合 計		172	221	250	228	249	223	221	214	208	189	177	201	2,553
稼働率		57.3%	71.3%	83.3%	73.5%	80.3%	74.3%	71.3%	71.3%	67.1%	61.0%	63.2%	64.8%	69.9%

◇実利用人員

短期入所(実利用者)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	2	2	3	5	6	6	6	9	7	6	5	7	14
	女	7	6	11	10	9	11	10	9	8	10	9	8	19
	計	9	8	14	15	15	17	16	18	15	16	14	15	33
障害児	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
合 計		9	8	14	15	15	17	16	18	15	16	14	16	37

◆日中一時支援事業実績

◇契約状況

契約市町村	契約利用者
	15

◇延べ利用人員

日中一時支援(延利用者)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	0	0	1	1	2	1	0	4	3	1	0	1	14
	女	0	0	0	0	3	1	0	2	0	2	1	4	13
	計	0	0	1	1	5	2	0	6	3	3	1	5	27
障害児	男	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1	6
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	計	0	1	0	1	0	0	2	0	1	1	2	2	10
合 計		0	1	1	2	5	2	2	6	4	4	3	7	37
稼働率		0.0%	0.6%	0.7%	1.3%	3.2%	1.3%	1.3%	4.0%	2.6%	2.6%	2.1%	4.5%	2.0%

◇実利用人員

日中一時支援(実利用者)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	0	0	1	1	2	1	0	4	2	1	0	1	6
	女	0	0	0	0	3	1	0	2	0	1	1	1	5
	計	0	0	1	1	5	2	0	6	2	2	1	2	11
障害児	男	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
	計	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	2	2	4
合 計		0	1	1	2	5	2	1	6	3	3	3	4	15

令和5年度 生活介護事業所ひかり実績報告書

【利用者の状況】 ≪通所利用者≫

◆ 利用状況

- 1) 前年度からの継続利用者 34 名
- 2) 利用中止者 2 名
- 3) 新規利用者 2 名
- 4) 月別状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在所者数	37	37	37	36	36	36	36	36	35	35	34	34	429
利用中止者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
新規利用者	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月末利用者	男	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
	女	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	15	193
	計	34	34	34	33	33	33	33	33	33	33	32	397
延利用人員	571	616	605	590	605	558	573	566	568	538	529	566	6,885
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366

◆ 年齢別・性別構成

	20歳未満	20-25歳未満	25-30歳未満	30-35歳未満	35-40歳未満	40-45歳未満	45-50歳未満	50-55歳未満	55-60歳未満	60-65歳未満	65-70歳未満	70歳以上	計
男	0	1	2	2	3	2	0	1	2	1	3	0	17
女	0	0	0	3	2	3	0	3	4	1	1	0	17
計	0	1	2	5	5	5	0	4	6	2	4	0	34

◎ 平均年齢等

	最小年齢		最高年齢		平均年齢	
男	21歳	10ヶ月	69歳	1ヶ月	44歳	4ヶ月
女	31歳	4ヶ月	66歳	3ヶ月	48歳	8ヶ月
					46歳	6ヶ月

◆ 障害等級別人員

	1級	2級	3級	その他	計
男	6	5	0	6	17
女	8	9	0	0	17
計	15	14	0	6	34

◆ 障害程度区分別人員

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	4	4	3	6	17
女	2	1	5	9	17
計	6	5	8	15	34

◆ 障害福祉サービス支給市町村

市町村	小美玉市	石岡市	かすみがうら市	鉾田市	笠間市	阿見町	土浦市	茨城町	行方市	潮来市	県外
利用者数	16	11	2	1	1	1	0	0	2	0	0

◆ 障害原因別人員

	脳性麻痺	多発性関節拘縮	頭部外傷	脳腫瘍	脳血管障害	筋ジストロフィー	小脳変性症	知的障害	その他	計
男	7	0	0	0	2	1	0	3	4	17
女	11	1	1	0	1	0	1	0	2	17
計	18	1	1	0	3	1	1	3	6	34

◆ 言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害		知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	
男	10	7	4	16	1	0
女	8	9	6	13	4	1
計	18	16	10	29	5	1

◆ 医療的ケアの状況

	経管栄養者	吸引実施者
男	0	0
女	1	1
計	1	1

◆ 日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自立	16	21	18	9	9	5	6	8	2	15
一部介助	8	5	8	11	13	12	7	9	14	2
全面介助	10	8	8	14	12	17	21	17	18	17

◆ 移動手段の状況

歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
7	1	0	26	0

◆ 車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
8	18	14	12	0

◆ 生活介護利用者延べ人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分6	254	278	267	275	285	263	271	266	267	260	260	274	3,220
区分5	137	140	142	149	143	131	133	134	135	120	119	133	1,616
区分4	69	77	76	75	85	75	79	79	79	73	72	76	915
区分3	111	121	120	91	92	89	90	87	87	85	78	83	1,134
合計	571	616	605	590	605	558	573	566	568	538	529	566	6,885

【 支援の実績】

◆ 事業・行事等の実施状況

4	創立記念日 観桜会・カラオケ大会	利用者・職員懇談会		散髪 誕生会
5	端午の節句 ゲーム大会		外出支援	散髪 誕生会
6			外出支援	散髪 誕生会
7	七夕祭		外出支援	散髪 誕生会
8	納涼祭			散髪 誕生会
9		利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
10	運動会 焼きも		外出支援	散髪 誕生会
11				散髪 誕生会
12	ナイスハートフェスティバル クリスマス会			散髪 誕生会
1	新年会	利用者・職員懇談会		散髪 誕生会
2	節分祭 ゲーム大会			散髪 誕生会
3	雑祭り			散髪 誕生会
その他	水質調査(5月・11月)			

◆ 消防防災関係実施状況

月	内 容	参加所	消防署への 届け出の有無
6	総合防災訓練(13:10 火災想定)	利用者、職員、 消防署	有
10	避難訓練(14:46 震度6レベル地震想定)	利用者、職員	有
11	総合防災訓練(13:10 火災想定)	利用者、職員職員 消防署	有
3	防災訓練(13:50 火災想定)	利用者、職員	有

* 6月、11月の総合防災訓練は、たまりメリーホームと合同で実施

◆ 余暇活動の実施状況

< 通所利用者 >

名 称	参加人員 (内)実人員			開催状況	実施回数	備 考
	男	女	計			
アロマケア・散歩・日光浴	156 (98)	243 (142)	399 (240)	月6.8回	82	
制作活動	191 (97)	360 (186)	551 (283)	月3.3回	40	ちぎり絵・型押し・貼り絵・壁面制作 折り紙
レクリエーション 国語クラブ	41 (30)	96 (63)	137 (93)	月2.0回	24	風船・もぐらたたき・ペットボトルボーリング 紙芝居・書道・ポッチャ・シャボン玉
カラオケ・音楽活動・DVD鑑賞	640 (243)	987 (348)	1,627 (591)	月8.7回	104	DVD鑑賞・合唱・合奏
生産活動	921 (79)	377 (43)	1,298 (122)	月16.5回	198	フルーツキャップ
グループ活動	588 (126)	1,165 (176)	1,753 (302)	月11.7回	140	入れ替え遊び・型合わせ 塗り絵・個人の興味に合わせた活動

◆ 余暇活動(料理クラブ)の実施状況

月	参加人員	実 施 内 容	備 考
4	22名	フルーチェ	
5	20名	ピザ	
6	24名	パフェ	
7	21名	カルピスシャーベット	
8	20名	ミルク餅	
9	20名	マシュマロアイス	
10	20名	バナナクレープ	
11	20名	ホットサンド	
12	18名	蒸しケーキ	
1	20名	くるくるサンド	
2	20名	肉まん	
3	22名	もんじゃ	
計	247名		

◆ リハビリテーション実施状況

◇ 理学療法士・言語聴覚士・作業療法士による訓練等

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
理学療法士	回数	12	9	13	13	12	9	13	10	16	14	13	11	145
	人員	37	37	42	40	37	34	40	39	53	40	37	36	472
言語聴覚士	回数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	人員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
作業療法士	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇ 実施状況

月	実施回数		対象者	参加者人員		1回当り参加人員	備考 (訓練内容等)
	回数	PTIによる		人員	PTIによる		
4	29	12	35	381	37	10.20	座位保持訓練 起立訓練 立位保持訓練 関節可動域訓練 歩行訓練 床上動作訓練 車椅子移乗訓練 車椅子駆動訓練 補装具等装着訓練 筋力維持増強訓練
5	30	9	35	361	37	10.21	
6	29	13	35	308	42	8.33	
7	28	13	34	336	40	9.17	
8	29	12	34	323	37	8.78	
9	29	9	34	315	34	9.18	
10	30	13	34	331	40	8.63	
11	28	10	34	283	39	8.47	
12	28	16	34	279	53	7.55	
1	27	14	34	272	40	7.61	
2	26	13	34	287	37	8.31	
3	29	11	34	289	36	8.13	
計	342	145	411	3,765	472	8.70	

◇ 実施状況 <言語リハビリテーション>

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り参加人員	備考 (訓練内容等)
	回数	STIによる		人員	STIによる		
4	0	0	0	0	0	0.00	嚥下状態の確認・訓練
5	0	1	0	0	1	1.00	
6	0	0	0	0	0	0.00	
7	0	0	0	0	0	0.00	
8	0	0	0	0	0	0.00	
9	0	0	0	0	0	0.00	
10	0	0	0	0	0	0.00	
11	0	0	0	0	0	0.00	
12	0	0	0	0	0	0.00	
1	0	0	0	0	0	0.00	
2	0	0	0	0	0	0.00	
3	0	0	0	0	0	0.00	
計	0	1	0	0	1	1.00	

◇ 実施状況 <作業療法>

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り参加人員	備考 (訓練内容等)
	職員による	OTIによる		職員による	OTIによる		
4	2	0	7	10	0	0.0	グループ活動 個別余暇活動 日常生活動作訓練
5	2	0	6	8	0	0.0	
6	4	0	10	24	0	0.0	
7	3	0	11	17	0	0.0	
8	15	0	10	69	0	0.0	
9	22	0	10	59	0	0.0	
10	24	0	10	57	0	0.0	
11	24	0	8	63	0	0.0	
12	25	0	11	89	0	0.0	
1	25	0	9	82	0	0.0	
2	25	0	9	94	0	0.0	
3	25	0	12	102	0	0.0	
計	196	0	113	674	0	3.4	

◆ 入浴実施状況

◇ 通所利用者

月	実施日数	対象人員	延人員	一人当たり月平均入浴回数	一人一週当り平均入浴回数	実施日1日当りの入浴人員	清拭延人員	備考
4	16	25	179	7.2	1.7	11.2	1	
5	18	26	216	8.3	1.9	12.0	2	
6	18	27	221	8.2	1.9	12.3	0	
7	17	26	201	7.7	1.8	11.8	0	
8	18	27	199	7.4	1.7	11.1	1	
9	17	26	195	7.5	1.8	11.5	0	
10	18	26	199	7.7	1.8	11.1	1	
11	17	26	189	7.3	1.7	11.1	0	
12	17	26	189	7.3	1.7	11.1	1	
1	18	26	202	7.8	1.8	11.2	0	
2	17	26	191	7.3	1.7	11.2	0	
3	17	25	192	7.7	1.8	11.3	1	
計	208	312	2,373	7.6	1.8	11.4	7	

※計算式

- ① 一人当たり月平均入浴回数 : 入浴延人員/対象人員
 ② 一人一週当り平均入浴回数 : 一人当たり月平均入浴回数×7日/30日
 ③ 実施日一日当り入浴人員 : 入浴延人員/入浴実施日数

令和5年度 共同生活援助事業所こだま実績報告書

【利用者の状況】

◆ 利用状況

- 1) 前年度からの継続利用者 7名
- 2) 今年度退所者 1名 (死亡退所 1名)
- 3) 新規利用者 1名
- 4) 月別状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在者数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	83
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
新規利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
月末利用者	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	35
	計	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7	83
延べ利用者数	210	217	210	217	216	210	217	210	216	191	195	217	2526

◆ 年齢別・性別構成

	40-45 未満	45-50 未満	50-55 未満	55-60 未満	60-65 未満	65-70 未満	70歳 以上	計
男	0	0	0	2	1	1	0	4
女	0	0	0	2	1	0	0	3
計	0	0	0	4	2	1	0	7

◆ 平均年齢等

	最小年齢		最高年齢		平均年齢	
男	55歳	5ヶ月	68歳	8ヶ月	62歳	7ヶ月
女	58歳	9ヶ月	63歳	7ヶ月	60歳	5ヶ月
					61歳	6ヶ月

◆ 障害等級別人員

	1級	2級	3級	その他	計
男	1	2	0	1	4
女		3	0	0	3
計	1	5	0	1	7

◆ 障害程度区分別人員

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	1	2	1	0	4
女	0	1	0	1	1	3
計	0	2	2	2	1	7

◆ 障害原因別人員

	脳性麻痺	脳血管障害	頸椎損傷	その他	計
男	1	1	1	1	4
女	2	1	0	0	3
計	3	2	1	1	7

◆ 言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害			知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	有のうちトロミ使用	
男	2	2	0	0	0	0	2
女	0	3	0	2	1	1	2
計	2	5	0	2	1	1	4

◆ 日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自立	3	6	5	4	3	4	4	4	2	4
一部介助	4	1	2	1	4	3	3	2	4	2
全面介助	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1

◆ 移動手段の状況

歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
2	0	0	5	0

◆ 車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
3	2	4	1	0

【支援の状況】

◆ 事業・行事等の実施状況

○外出支援

月	日	行先・参加行事	参加者数
R5			
4	8	ウエルサイト	2名
	23	アピオス小川	2名
5	13	ウエルサイト	1名
	27	山王台病院耳鼻科	1名
	28	県スポ	2名
	29	共立病院	1名
6	10	共立病院	2名
	24	ウエルサイト	1名
9	5	心身協オセロ・輪投げ大会	2名
10	11	日帰り旅行	1名
10	14	ドコモショップ石岡店	1名
		小美玉市障害者レクリエーション教室	2名
	21	山王台病院	1名
	29	にっこり祭り	3名
11	8	内原イオン	3名
	14	玉里支所	1名
11	16	内原イオン	3名
12	2	山王台病院耳鼻科	1名
R6			
1	20	山王台病院	1名
3	2	山王台病院耳鼻科	1名

●の行先・行事に関しては、他事業所と合同実施・参加

◆ 面会・外出・外泊の状況

氏名	面会回数	外出 (通院含む)	外泊	
			回数	日数
	4	6	0	
	2	0	0	
	15	8	0	
	6	9	3	3
	38	2	0	
	27	11	0	
	3	3	0	
	10	27	0	

◆ 消防防災関係実施状況

月	内 容	参加者	消防署への届出の有無
5	避難訓練、設備器具（18:00 出火想定）	利用者、職員	有
6	総合訓練（17:00 出火想定）	利用者、職員 地元消防団、消防署	有
8	避難訓練、設備器具（14:46 地震想定）	利用者、職員	有
10	避難訓練、設備器具（21:00 出火想定）	利用者、職員	有
11	総合訓練（16:30 出火想定）	利用者、職員 地元消防団、消防署	有
2	避難訓練、設備器具（14:46 地震想定）	利用者、職員	有

*6月、11月の総合訓練は他の事業所と合同で実施

◆ 会議の開催状況

名称	参加者	開催状況
生活に関する話し合い	利用者・職員	1回

令和5年度 相談支援事業実績報告書

社会福祉法人敬山会 相談支援事業所 たまりメリーホーム

1 特定及び障害児相談支援事業

	障害種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計 画 作 成	身体障害者	4	2	5	2	4	3	6	2	1	2	4	1	36
	知的障害者	3	3	3	5	3	2	3	0	2	1	1	5	31
	精神障害者	2	0	1	0	1	0	0	3	1	1	3	1	13
	発達障害者	3	0	2	1	2	1	2	0	0	3	2	2	18
	障害児	8	4	4	2	7	2	4	5	6	2	5	3	52
	難病	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	5
	月合計	21	9	15	10	17	8	15	11	11	9	16	13	155
モ ニ タ リ ン グ	身体障害者	8	9	9	18	9	12	9	9	6	21	10	12	132
	知的障害者	5	6	6	8	7	11	5	7	8	11	6	8	88
	精神障害者	5	0	1	5	0	2	1	4	0	1	4	2	25
	発達障害者	3	2	1	1	1	5	3	3	5	5	3	0	32
	障害児	8	8	5	5	4	10	6	8	3	7	2	8	74
	難病	0	1	0	0	1	1	0	1	2	0	0	1	7
	月合計	29	26	22	37	22	41	24	32	24	45	25	31	358
総計	50	35	37	47	39	49	39	43	35	54	41	44	513	

2 小美玉市委託相談支援事業

1 相談受付等の状況

(1) 相談件数及び相談方法

相談件数 (延べ)	相談方法								備考
	来所	電話	訪問	見学同行	会議	関係機関	電子メール	その他	
340	39	90	86	21	14	75	11	4	

(2) 相談内容

相談内容(延べ)	件数	備考
福祉サービスの利用等に関する支援	74	
不安の解消・情緒安定に関する支援	52	
健康・医療に関する支援	22	
家族関係・人間関係に関する支援	25	
障害や病状の理解に関する支援	31	
家計・経済に関する支援	10	
生活技能に関する支援	2	
社会参加・余暇活動に関する支援	5	
就労に関する支援	6	
権利擁護に関する支援	14	
保育・教育に関する支援	91	
その他	8	
合計	340	

◆ 相談・事故・苦情等の状況(各事業共通)

◇ 相談受付状況 (相談支援事業による相談を除く)

年 月 日	相談の内容	相談方法				住 所	備 考
		来所	電話	メール	他		
05.04.05	短期入所利用について	○	○			小美玉市	
05.05.09	短期入所利用について	○	○			龍ヶ崎市	
05.05.09	短期入所利用について		○			石岡市	
05.06.27	生活介護利用について		○			水戸市	
05.06.26	短期入所利用について	○	○			笠間市	
05.07.24	施設入所について	○	○			東海村	
05.10.03	施設入所について	○	○			潮来市	
05.11.02	施設入所・短期入所について		○			常陸大宮市	
06.01.10	短期入所利用について	○	○			行方市	
06.02.03	短期入所利用について		○			行方市	
06.03.05	施設入所について		○			土浦市	
計	<相談件数 11 件 >	6	11	0	0		

◇ 事故発生状況

発 生 場 所	発 生 状 況	件 数	発 生 原 因
<メリーホーム>			
居室	転倒	2	利用者の不注意によるもの
	転倒	2	職員の不注意によるもの
	転落	2	職員の不注意によるもの
	転落	1	利用者の不注意によるもの
	窒息	2	職員の不注意によるもの
	怪我	5	職員の不注意によるもの
	怪我	1	環境によるもの
	怪我	2	利用者の不注意によるもの
	服薬ミス	3	職員の不注意によるもの
	鼻腔チューブ抜去	2	職員の不注意によるもの
	気管カニューレ抜去	1	利用者の不注意によるもの
	その他	4	職員の不注意によるもの
	その他	1	利用者の不注意によるもの
	食堂	転倒	1
転倒		1	利用者の不注意によるもの
誤嚥		1	職員の不注意によるもの
服薬ミス		2	職員の不注意によるもの
怪我		1	職員・利用者の不注意によるもの
その他	1	職員・利用者の不注意によるもの	
廊下	転倒	1	職員の不注意によるもの
	その他	1	職員・利用者の不注意によるもの
玄関	離脱	1	職員・利用者の不注意によるもの
<ひかり>			
トイレ	転落	1	利用者の不注意によるもの
ホール	服薬忘れ	1	職員の不注意によるもの
車中	転落	1	職員の不注意によるもの
<こだま>			
ホール	服薬ミス	1	職員の不注意によるもの

42

◇ 苦情・意見等受付状況

年 月 日	申出者	苦情内容	解決	未解決	その他
05.04.04	利用者	パンの訪問販売について	○		
05.05.08	利用者	職員の態度について	○		
05.05.08	ひかり利用者	サービスの内容について	○		ひかり
05.06.27	匿名	職員の態度について	○		
05.06.30	匿名	交通マナーについて	○		
05.07.03	匿名	職員の態度について	○		
05.07.07	匿名	職員の態度・サービスの内容について	○		
05.09.06	利用者	職員の態度について	○		
05.09.06	利用者	職員の態度について	○		
06.01.17	利用者	排泄カートの置き場所について	○		
06.01.17	利用者	リフトの置き場所について	○		
06.01.17	利用者	職員の態度について	○		
06.01.17	利用者	説明・情報不足	○		
06.02.20	利用者	職員の態度について	○		
合 計		14 件			

◇ 要望・相談等受付状況

年 月 日	申出者	意見・要望内容	解決	未解決	その他
05.04.04	利用者	職員写真の掲示について	○		
05.04.04	利用者	サービスの内容について	○		
05.04.04	利用者	サービスの内容について	○		
05.04.04	こだま利用者	サービスの内容について	○		こだま
05.04.04	こだま利用者	サービスの内容について	○		こだま
05.09.06	利用者	空調管理について	○		
05.09.06	利用者	苦情、要望等の伝え方について	○		
06.01.17	利用者	テイクアウトについて	○		
06.01.17	利用者	サービスの内容について	○		
06.01.17	利用者	サービスの内容について	○		
06.01.17	利用者	旅行について	○		
合 計		11 件			

◇ 地域における公的取組み

活動内容	期日	概要等
学校交流事業 玉里小学校運動会参加 玉里東小学校交流会	令和05年07月13日～令和05年07月14日	新型コロナウイルス感染防止のため中止
緊急一時保護事業	令和05年07月13日～令和05年07月14日	小美玉市障害福祉課 浅尾氏、小美玉市社会福祉協議会 平沢氏 他1名来所する。両親と3人暮らし。両親は理解力に乏しいが手帳は所持していない。家事は母親が担っており、父親は自分の身の回りのことはできるが、一也氏の面倒は見るのが不十分である。本人は療育手帳A コミュニケーションも可能で穏やかな性格。支援センター「かなな」に通所しており、週1回「こもれび」で午前中就労している。母親が腰部圧迫骨折にて5月19日入院した。そのため、父親が何とか頑張ってやっているが、疲れてきている。一也氏は障害福祉サービス受給者証を所持していないため、サービスの利用はできない。6月の審査会にかける予定であり、その後はヘルパーや短期入所等のサービスを検討していく。その間父親と一緒に、緊急一時で対応してもらう事は可能かとのことであった。また、平日は「かなな」に行っているため、週末に利用できればとのこと。利用は可能であることを伝え、利用するときには連絡するとのことであった。
	令和05年07月27日～令和05年07月30日	小美玉市社会福祉協議会 平沢氏より連絡あり。以前相談した山崎一也氏の父親(72歳)を保護してほしいとのこと。妻が退院してきて父、母、一也氏の3人で暮らしているが、母親が父親に対してきつく当たってしまい、父親が家にいられない状態で、昨日四季健康館に相談に来た。話をすると自宅に戻るとのことであった。本日再度四季健康館に父親が相談に来て、昨日は家に帰らず野宿をしたとのことであった。状況が落ち着くまで保護してほしいとのことであったため、受け入れ可能であることを伝える。7月31日 5:30に仕事があるので7月30日まで保護することとなる。
	令和05年10月02日～令和05年10月03日	小美玉市社会福祉課 小倉氏より連絡あり。先週末から生活困窮者で関わっていた方が、先月まで社員寮に入っており、会社をくびになったため、寮から出されてしまった。昨日は友人宅に泊まったが、今日から行くところがない。明日面接をして住み込みで働けると探るので、本日保護してほしいとのこと。本人は健康状態は良好で問題行動等はない。抗原検査陰性を確認し保護することとする
	令和05年10月23日～令和05年10月24日	小美玉市社会福祉課 小倉氏より連絡あり。車上生活者が生活に疲れたと美野里支所に相談に来ている。明日玉里支所にて面談後、施設の面接に行くので、今晚だけ保護してほしいとのこと。本人は落ち着いており、問題行動等はないとのこと。17:30市役所職員2名と本人が来所し、抗原検査陰性を確認し保護開始とする。明日玉里支所でエスエスエ(無料宿泊所)の職員と面談をし、空いている事業所に行くとのこと。そのため明日9時過ぎに迎えに来ることになる。本人は愛媛県出身で新潟で仕事をしてきたが、何らかの理由で小美玉市に来た。しかしアパートの審査が通らず、車上生活をしてきたとのこと。
	令和05年03月29日～	小美玉市介護福祉課 木村氏より連絡あり。息子からの虐待(暴力、モップの柄でたたかれる等)があり、警察が入ったため、保護する必要がある。介護保険はこれから申請するため、要介護度等が確定したら、介護保険サービスを利用していくことになるが、それまでの間保護してほしいとのこと。本人の状況等は、76歳 女性 ADL自立 服薬自己管理 少し知的があるかもしれない。生活保護。息子が4人おり、三男(精神疾患、療育手帳B)と2人暮らし。三男は以前、水戸の事業所に行っていたが、嫌になって戻ってきてしまった。長男は羽鳥にいるが、交通事故で入院中(本日退院)。次男は群馬県、四男は東京にいる。息子からの暴力で右上腕に打撲があるが、その他は行動面の含めて問題なさそうである。
地域行事参加事業		
小美玉市福祉にっこり祭	令和05年10月29日	職員6名、利用者11名参加
ナイスハートフェスティバル	令和05年12月09日	職員家族にインフルエンザ罹患者複数いるため中止
その他		
地域清掃活動	令和05年06月21日	職員5名、利用者5名参加し、施設周辺の清掃活動実施。
福祉車両貸出事業	実施回数 38回	実利用者数 8名
		延べ利用者数 38名

◆ ボランティア・見学等の実施状況

団体名又は個人名	回数	人員	延人員	内 容 等
茨城県警察音楽隊	1	22	22	防犯コンサート
美野里太鼓	1	14	14	納涼祭アトラクション
おろしぼんづ	1	1	1	クリスマス会アトラクション
	6	1	6	余暇活動支援

◆ 広報誌(おおぞら)発刊

発行日	内容
令和05年06月30日	○茨城県警察音楽隊演奏会○職員の1日○ひかり便り○委員会活動報告○共同募金助成○新人職員紹介○入所・退所のお知らせ○お礼○行事予定○あしがき
令和06年01月31日	○日帰り旅行○外出支援・行事等の風景○令和4年度事故報告・苦情相談報告まとめ○新人紹介○お礼○入所・退所のお知らせ○決算報告○行事予定○あしがき

◆ 運営管理関係

◇ 研修関係＜施設内研修＞

期日	研修名	研修内容	講師	対象者または参加者
4月19日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
5月17日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
6月21日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
7月19日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
7月19日	防犯について	不審者侵入（夜間帯想定）の退所方法	日本防災通信協会 石岡警察署員	全職員
8月16日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
9月	契約職員研修	法人の理念、職員相互理解、信頼関係構築、チームワーク、虐待防止・リスクマネジメント	サービス管理責任者	全職員
9月20日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
10月18日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
10月18日	心肺蘇生法	消防署員の指導の下、正しい心肺蘇生法を学ぶ	小美玉市消防署員	全職員
11月22日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
12月20日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
12月20日	感染症対策・個人防護具着脱方法	個人防護具着脱方法	看護師	全職員
12月20日	職場力を高める方法	コミュニケーションや情報共有の重要性を理解し 職場力を高める	(株) ヤマナコーポレーション 代表取締役	全職員
1月24日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
2月21日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
2月21日	権利擁護・虐待防止研修	権利擁護・虐待防止について	サービス管理責任者	全職員
2月21日	R5年度委員会報告書	【身体拘束廃止虐待防止委員会】今年度のまとめ		全職員
3月27日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
3月27日	R5年度委員会報告会	【安全対策・支援検討委員会】今年度のまとめ		全職員

期日	主催	研修名	研修内容	研修参加者名	人数
5月23日	茨城県心身障害者福祉協会	基礎知識アップ研修 【録画配信】	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設で社会人として、福祉のプロとして求められる人材 ・私たちが大切にしたいこと～人権について～ ・障害福祉の基礎知識 ・障害者の生活を支える仕組み ・先輩からのメッセージ ・幸せに働くために 	生活支援員	1
5月24日	茨城県福祉部障害福祉課	障害福祉サービス事業所 管理者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・施設従事者による虐待及び不品行の防止について ・障害福祉サービス事業所等の運営における留意事項 	副施設長	1
6月16日～18日	全国社会福祉協議会 中茨福祉学園	スーパージョブ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパージョブは技術だけでなく組織体制である ・包括的スーパージョブ体制を稼働させる ・スーパージョブ体制の構成理論 ・スーパージョブ体制の様式・形態・課題 ・組織におけるスーパージョブ体制の稼働 ・スーパージョブ活用プログラムの活用 	生活支援員	1
6月21日～23日	介護福祉士会	たん吸引研修	<ul style="list-style-type: none"> ・吸引等が必要とする重度障害児・者等の障害及び支援に関する講義 ・緊急時の対応及び危険防止 ・吸引等に関する演習 ・口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部の喀痰吸引 ・胃ろう又は腸ろう・経鼻経管栄養 	生活支援員	1
6月22日	茨城県社会福祉協議会	レクリエーション基礎研修会	<p>【講義・演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護のレクリエーションは何のために ・心のリハビリ・レクリエーションは何をする ・心のリハ、レク、5つの3つの大事 ・温かいしゃべりの3つの大事 ・温かいしゃべりレクへの応用体験 	生活支援員	1
6月20日	茨城県社会福祉協議会	リーダー研修	<p>【Zoom】</p> <p>【講義・演習】</p> <p>「職員から信頼されるリーダーになるためには」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーに期待されることとは何か ・日常の振り返り・自分自身の現状を確認する・リーダー行動の基本 ・リーダーシップとは何か・心理的安全性とチームの在り方 ・チームビルディング（組織構築）とは ・自分のリーダーとしての未来像を描く ・リーダーシップ発揮に向けて 	生活支援員	1
6月29日～30日	茨城県社会福祉協議会	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程A (中堅職員研修)	<p>【講義・演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップとセルフマネジメント ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・メンバースタッフ ・能力開発 ・業務課題の解決と実践研究 ・リスクマネジメント ・チームアプローチと他職種連携・地域協働 ・組織運営管理 	生活支援員	1

7月4日	茨城県社会福祉協議会	相談援助担当者研修	【講義・演習】 「対人援助職のための相談力入門」 ・本研修の活用方法・よくある相談の誤解・間違え ・相談の基礎を学ぶ・相談の3つのステップ・相談の組み立て方 ・初回面接の注意点・相談者を理解する技術（理解・信頼関係・観察） ・心を支えるコミュニケーション（共感）・相談を「演出」する技術 ・ニーズとウオッチングの区別が支援の質を左右する	サービス管理責任者	1
7月7日	茨城県社会福祉協議会	伝わるビジネス文書講座	【録画配信】 「ビジネス文書の基本を学ぶ」 ・ビジネス文書の基礎知識 ・文書作成に活かす文章力 ・ビジネス文書の慣用表現 ・電子メールの基本	生活支援員	1
7月11日～12日	日本防火・防災協会 かずみがうら市消防本部	甲種防火管理者新規講習	・防火管理の意義と制度の概要 ・火災の現象 ・出火防止と収容人員の管理 ・危険物等の安全管理 ・地震対策 ・応急手当 ・施設・設備の維持管理 ・自衛消防 防火管理の進め方と消防計画	理学療法士 サービス管理責任者	2
7月18日	茨城県社会福祉協議会	「伝わる」でつながる広報誌講座	【講義・演習】 「伝わる広報誌とは」 ・伝わる広報誌の目的 ・伝わる広報誌のポイント ・広報で成功している事例 ・変更しにくいが変更したほうが良いポイント ・レイアウトの基礎 ・「伝わる」選び言葉 ・広報誌ワンポイントアドバイス ・グループワーク	サービス管理責任者 生活支援員	2
7月20日～21日	全国身体障害者施設協議会	全国大会	行政説明 「障害関係福祉施策の動向」 基調報告 「ケアコミュニティを通して新しい障害者支援施設を創造するために～持続可能な障害者支援施設を目指して～」 記念講演 「What WonderhulWorld～この素晴らしい世界～」 実践発表 研究発表	施設長 理学療法士 サービス管理責任者 生活支援員	6
7月22日	小美玉市消防本部	普通救命講習会	事前研修～応急手当Web講習 ・心肺蘇生法 ・AED取り扱い	生活支援員	1
7月26日	茨城県社会福祉協議会	ファンリレーションン研修	【講義・演習】 「ファンリレーションンの基本」 ・ファンリレーションとは何か ・会議を進行する4つのポイント ・会議の場をデザインする技術 ・会議を活性化させる技術 ・会議の構造化する技術 ・会議を行動につなげる技術	生活支援員	1

7月28日	茨城県社会福祉法人経営青年会	経営青年会セミナー ～創造力開発セミナー～	・創造性開発の必要性 ・ニース思考で考える ・創造性開発テクニック紹介 ・実現に向けて考慮するポイントという観点から演習	理学療法士	1
7月28日	厚生労働省	生産性向上の取組に関する 介護事業所向けゼミナー	【Zoom】 ・介護現場の生産性向上における厚生労働省の取組について 「介護サービス生産性向上の基本と取組のポイント」 ～介護経営としての業務改善の考え方と今日からできること～ ・「介護現場の生産性向上の取組発表」 ・業務改善の歩を踏み出し、継続するために必要なこと	サービス管理責任者 生活支援員	3
8月3日	茨城県社会福祉協議会	業務改善力向上研修	【Zoom】 【講義・演習】 「モノと情報の整理整頓することで、業務改善を実行する」 ・私達の福祉職場がなぜ忙しいのか ・事例演習で学ぶSSの現状を把握する ・私たちのSS職場の現状を把握する ・仕事の段取り力 ・チームメンバー・上司を納得させる解決提案スキル	生活支援員	1
8月8日	茨城県社会福祉協議会	アングーマネジメント研修	【講義・演習】 「アングーマネジメントの理解」 ・アングーマネジメントとは ・怒りとは（自分の感情の腑を知ろう） ・アングーマネジメント3つのコントロール ①衝動のコントロール ②思考のコントロール ③行動のコントロール 「アングーマネジメントの有効活用」 ・価値観の共有化ワーク ・テーマ：動きやすい職場づくりのために ・上手に伝える（叱る）ことを再定義 ・NGワード、NG態度とは	生活支援員	1
8月10日	茨城県社会福祉協議会 茨城県社会福祉法人経営者協議会	社会福祉法人経営改善支援研修会	【講義】「職員のメンタルヘルスケアとコミュニケーション」 ・人間関係、質のよいコミュニケーションのための技法 ・職場内の環境づくり （部下、チームメンバー、後輩のメンタルケアとモチベーションアップ） ・職員のスキップアップ研修等の導入（職場でのやる気）	理学療法士	1
8月18日	茨城県	第1回高次脳機能障害者支援従事者研修会	【Zoom】 【講義】 「小児期医療における高次脳機能障害について」	相談支援専門員	1
8月24日	茨城県社会福祉協議会	福祉現場における 事業継続計画(BCP)作成研修	【Zoom】 【講義・演習】 ・福祉事業所における事業継続計画で目指すもの ・BCP策定のプロセス ・具体的なBCPの策定項目 ・風水害と新型コロナウイルス対策	サービス管理責任者	1
8月24日	全国社会福祉法人経営者協議会	主任/係長講座	【Zoom】 【基調説明】「社会福祉法人制度改革と今後の法人経営」 【講義】「福祉施設で働く職員のためのセルフリーダーシップ」 ・7つの習慣®	看護師	1

8月31日	茨城県社会福祉協議会	記録の書き方研修	【講義・演習】 ・SWHを明確にしたわかりやすい文章を心掛ける ・自分の感情や意図を入れずに、客観的事例を正確に書く ・略語や専門用語はなるべく控える ・フォォーカスチャートディングでの記録	生活支援員	1
9月1日	茨城県障害相談支援事業所 マネジメント協会	相談支援専門員のためのアセスメント研修	【講義・グループワーク】 ・DSM5モデルのアセスメントに基づいたケアマネジメント	相談支援専門員	1
9月7日	茨城県社会福祉協議会	メンタルヘルスケア研修	【講義・グループワーク】 「ライオンケアを重視した職場づくり」 ・職場のメンタルヘルス ・ハラスメントを考える ・ライオンケアの基本と実際 ・職場のコミュニケーション ・部下のメンタルヘルスを支える話の聴き方	生活相談員	1
9月9日	全国障害者総合福祉センター	ICF支援者研修	【Zoom】 ・ICFを活用した障害者支援の実践 ・情報機器のアクセシビリティとコミュニケーション支援 ・情報アクセシビリティとマルチメディアデザイナーの取組	生活支援員	2
9月14日	茨城県社会福祉協議会	メンタルタフネス研修	【講義・演習】 「対人援助職のためのコミュニケーション」 ・自分のメンタルの現在地 ・ストレスとレジリエンス（復元力） ・他者援助を通じた自己実現 ・コミュニケーション演習 ・バーンアウト（燃え尽き症候群）にならないために ・折れない心の条件	生活支援員	2
9月15日	土屋ケアカレッジ	介護福祉士実務者研修	介護課程 ICF表の作成 ICF表を基にした介護計画書の作成	生活支援員	1
9月26日	エンカレッジ介護アロマ協会	介護アロマ体験講座	アロマケアとは アロマセラピーとは 介護現場でのアロマ活用法 精油の特性・精油の取り扱い キャリアアオイルについて ハーブアロマについて おすすめの精油 ハンドトリートメントの手法・実技	相談支援専門員 生活支援員	2
9月27日	茨城県発達障害者支援センターあい	発達障害に関する行動障害勉強会	事例検討演習	相談支援専門員	1
9月27日	協立調理器	調理実演会 クッキングライブ	調理実演会 献立 ・鮭、ほっけの焼き魚・鶏のから揚げ・かじき、ホタテのフライ ・赤・黄パプリカとズッキーニの温野菜・じやがいものフライドポテト	調理員	1

9月27日～28日	茨城県心身障害者福祉協会	サービス管理責任者等研修【実践研修】	フアンリテーター派遣	サービス管理責任者	1
9月28日	茨城県社会福祉協議会	看護師研修	【Zoom】【講義】 「福祉施設における感染対策を実践するために看護職として必要な事」 ・感染対策の重要性と考え方について ・標準予防策の要素 ・施設における感染管理体制（職業感染対策含む） ・感染症発症時の対応 ・経路別予防策（接触・飛沫・空気感染対策） ・感染性胃腸炎と新型コロナウイルス感染症対策の実際	看護師	1
9月29日	土屋ケアカレッジ	介護福祉士実務者研修	介護課程 移動・移送の支援手順書の作成 移動・移送の実技演習 入浴の支援手順書の作成 入浴の実技演習	生活支援員	1
10月2日	エイデル研究所	初めてのDo-CAPシート書き方研修	【Zoom】 ・マンガで考える ・こんな仕組みがあれば ・職員の働きぶりを確認するためのルール ・Do-CAPシートを知る ・Do-CAPシートを理解する ・Do（実施）check（確認）action（処置）plan（計画） ・目標を記入する際に確認すべき項目 ・具体的な目標の立て方 ・職務について具体的な目標の立て方（事例）	理学療法士 生活支援員	3
10月4日～5日	茨城県心身障害者福祉協会	障害者相談支援専門員（初任者）研修	・障害者の地域支援と相談支援従事者（サービス管理責任者、児童発達支援管理従事者）の役割に関する講義 ・障害者総合支援法及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義 ・相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義 ・ケアマネジメントプロセスに関する講義及び演習 ・相談支援の基礎技術に関する実習 ・障害福祉の動向に関する講義 ・相談支援の基本姿勢及びケアマネジメンの展開に関する講義 ・人材育成の手法に関する講義及び演習 ・相談援助に関する講義及び演習	相談支援専門員兼生活支援員	1
10月5日	エイデル研究所	E式合同考課者研修	【講義・演習】人事考課の目的 【講義・演習】評価の基本 【個人ワーク】人事考課演習 【個人ワーク】面接準備シートの作成 【講義】面接の目的と求められるスキル・心構え	生活支援員	1
10月6日	土屋ケアカレッジ	介護福祉士実務者研修	介護課程 実技試験	生活支援員	1

10月20日	茨城県社会福祉協議会	クレーム対応力強化研修	<ul style="list-style-type: none"> ・クレームを感動に変える ・クレーム対応の実際 ・クレーム対応の際の聞き方 ・クレーム対応と話す能力 ・対応が困難な「ハードクレーム」の知識 ・組織対応力を磨くために 	生活支援員	1
10月26日	外国人拡大プレイス	日本人とはここが違う 外国人にとっての介護福祉士国家試験対策セミナー	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験とJLPTの比較 ・日本人とは違う外国人介護人材が感じる特有の難しさ ・外国人介護人材への国家対策の指導ポイント 	サービス管理責任者 生活支援員	2
10月26日	茨城県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修	<p>【Zoom】</p> <p>【講義・演習】「仕組みで管理すべき現場のリスク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの基礎 ・リスクマネジメントの必要性 ・安全・安心とリスク関係 ・福祉現場におけるリスク体系 ・事例で考える（児童・保育施設での事故） ・事故発生のメカニズム ・危険予知トレーニング ・リスクマネジメントの構造（氷山モデル） ・リスクマネジメントの効率的な進め方 ・ヒヤリハット報告の重要性を高めるために ・リーダー職員が行う事 ・リスク評価の心理特性 ・ヒューマンエラー対策をどう進めるか ・利用開始時の注意点 ・リスクに関する共通認識づくり ・事例で考える（児童・保育分野での事故②） ・DCPを策定するためコツ ・DCPの美効性を高めるためのポイント 	生活支援員	1
10月30日	茨城県社会福祉協議会	虐待をしないためのスピーチロック防止研修	<p>【Zoom】</p> <p>【講義・演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックとは ・虐待行為と3つのロック ・義務化された「パワハラ防止法」の理解 ・スピーチロック概要と背景 ・言葉の洗い出しワーク ・言語表現力を養う ・起こり得る4つの原因とは ・スピーチロックの真の原因はヒューマンエラー ・ヒューマンエラーの種類 ・スピーチロック防止 4つの視点 ・アセスメント（評価基準）、エラーグループ ・演習「言葉の改善」 ・演習「ケーススタディ」 	生活支援員	1

10月30日	茨城県心身障害者福祉協会	障害者相談支援専門員(初任者)研修	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の地域支援と相談支援従事者(サービス管理責任者、児童発達支援管理従事者)の役割に関する講義 ・障害者総合支援法及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義 ・相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義及び演習 ・ケアマネジメントプロセスに関する実習 ・相談支援の基礎技術に関する実習 ・障害福祉の動向に関する講義 ・相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義 ・人材育成の手法に関する講義 ・相談援助に関する講義及び演習 	相談支援専門員兼生活支援員	1
10月30日～31日	心身障害児総合療育センター	摂食・嚥下(基礎・実習)講習会	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「摂食障害・嚥下の病態と対応」 ・食事介助について ・対象児者の評価 ・摂食嚥下のプロセス ・食事の発達 ・食事の援助方法 ・日常生活での関わり 	看護師	1
11月7日	茨城県社会福祉協議会	発達障害研修	<p>【講義・演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「発達特性のある子への視点と支援～穏やかな生活を目指して(事例検討)」 ・発達障害研修(子供・基礎編)の復讐 ・具体的なコミュニケーションの方法 ・事例検討 	相談支援専門員	1
11月10日～12日	全国社会福祉協議会	職場研修担当者研修	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの福祉人材育成と職場研修 ・職場研修の考え方と推進方法 ・職場研修の推進実態を診断する① ・職場研修の推進実態を診断する② ・OJT活性化施策の推進 ・OFT-JTによる職場研修の推進 ・研修ニーズ分析と年間計画の策定 ・職場研修担当者の役割と課題 	サービス管理責任者	1
11月11日	日本ヒューマンケアアソシエーション アール医療専門学校	地域公開講座	<p>【講演】「発達障害の特徵、ケアについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症スペクトラム(ASD) ・限局性学習障害(LD) ・注意欠如・他動性障害(ADHD) ・発達性協調運動障害(DCD) <p>【講演】「非アルコール性脂肪性肝疾患と肝臓リハビリテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令・道路交通の現状と交通事故の実態 ・運転管理 ・運転指導 ・安全運転の基本 ・交通安全教育映画 	理学療法士	1
11月14日	茨城県公安委員会	安全運転管理者講習		サービス管理責任者	1

11月17日	茨城県高次脳機能障害者 支援基礎講座	高次脳機能障害者支援基礎講座	【動画配信】 ・高次脳機能障害支援センターの紹介 ・高次脳機能障害とはどのような障害か ・高次脳機能障害支援に関わる福祉サービスと制度について知る ・高次脳機能障害者のリハビリテーションについて ・高次脳機能障害者の就労支援、訓練の実際 ・高次脳機能障害 当事者と家族の声 ・家族・当事者支援の実際（友の会活動紹介）	生活支援員	1
11月18日	(株)幸和義肢研究所	つくば福祉機器展2023	福祉機器展	理学療法士 生活支援員	4
11月24日	茨城県社会福祉協議会	コーチング研修	【講義・演習】 ・人を育てる！コーチング ・リーダーの役割と育成力 ・コーチングとは ・コーチングの基本 ・タイプ別コミュニケーション ・コーチングの進め方 ・リーダーに求められる聴く力 ・部下・後輩の困りごとを聴くときのポイント ・質問で答えが変わる ・認知力アップのコツ ・困ったスタッフとの接し方 ・信頼されるリーダーになるために	生活支援員	1
11月29日	茨城県社会福祉協議会	チームリーダー研修	【講義・演習】 「職員から信頼されるリーダーになるためには」 ・リーダーに期待されることとは何か ・日常の振り返り ・自分自身の現状を確認する ・リーダーシップの基本 ・リーダーシップとは何か ・心理的安全性とチームの在り方 ・チームビルディング（組織構造）とは ・自分のリーダーとしてとしての未来像を描く ・リーダーシップ発揮に向けて	生活支援員 調理員	2
11月26日	茨城県社会福祉士会	障害者相談支援従事者研修 専門コース別研修 障害児相談支援	【障害児相談支援】 「権利擁護・成年後見制度」 「地域移行」 「意志決定支援」	相談支援専門員	1
11月27日	全国社会福祉法人経営者協議 会	マネジメントスキル講座	【動画研修】 ・チームで目標達成する仕事の仕方 ・職場の問題解決スキル ・リーダーに求められるコミュニケーション術 ・メンバーの育成・支援 ・行動計画の策定 【集合研修】 ・職場のグッツドプロラクティブイテイス研究 ・仕事に向いてないと言いついた部下への対応 ・質問と明確化の演習 ・部下育成を取り巻く悩み、問題 ・「育成計画」作成要領	生活相談員	1

12月1日	茨城県社会福祉協議会	外国人介護人材活用セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 介護業界と介護外国人を取り巻く環境 外国人人材の採用におけるメリット・デメリット 介護における在留資格の細則 技能実習・特定技能の詳細 外国人受け入れに当たってのポイント 送り出し機関の会社概要と受入経緯 	サービス管理責任者 生活支援員	2
12月1日～2月9日	茨城県社会福祉協議会	労務管理とコンプライアンス研修	<p>【録画配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 労務管理・コンプライアンスが必要な理由 働き方改革関連法令を踏まえた労務管理 福祉施設における同一労働同一賃金 労務トラブルにならない職場づくり 	施設長 理学療法士 サービス管理責任者 生活支援員	1
12月9日～10日	全国障害者総合福祉センター (戸山サンライズ)	障害児・者とのコミュニケーション支援 技術研修会	<ul style="list-style-type: none"> 障害のとりえ方 コミュニケーションを考える際に大切なこと 知的障害のある人とのコミュニケーション 知的障害のある人とのコミュニケーションの方法を考える 発達障害のある人とのコミュニケーション 発達障害のある人とのコミュニケーションの方法 <p>【オンライン研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントの基本理解 リスクマネジメントにおけるリスクマネジメント 福祉サービスにおけるリスクマネジメント体制構築 質改善のためのマネジメントと手法 自主点検の考え方と手法 苦情・相談対応と事故発生時のリスクマネジメント 福祉サービスにおける虐待防止 感染症対策と前線とした組織マネジメント 事故予防とアセスメント アセスメントと個別計画の策定～アセスメントシートの活用 リスクマネジメント手法 	相談支援専門員兼生活支援員	1
12月11日 12月19日	全国社会福祉法人経営者協議会	リスクマネジメント養成講座2023 (旧初級)		生活支援員	2
12月13日～14日	全国身体障害者施設協議会	職員スキルアップ研修会	<p>【講義・演習】</p> <p>「総括所見を振り返り、障害者施設へ求められていること、身障協としての向き合い方を考える」</p> <p>「身障協が考えるケアの基準～ケアガイドラインを活用して支援の質を上げる」</p> <p>*グループワーク</p> <p>「身障協ケアガイドラインで適切なケアを考える」</p> <p>「利用者の権利と職員の保護を実現する」</p> <p>【講義】</p> <p>「当事者心理の理解とストレスマネジメント」</p>	サービス管理責任者 生活支援員	2
12月19日	茨城県心身障害者福祉協会	障害者相談支援専門員(初任者)研修	<ul style="list-style-type: none"> 障害者の地域支援と相談支援従事者(サービス管理責任者、児童発達支援管理従事者)の役割に関する講義 障害者総合支援法及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義 相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義 ケアマネジメントのプロセスに関する講義及び演習 相談支援の基礎技術に関する実習 障害福祉の動向に関する講義 相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義 人材育成の手法に関する講義 相談援助に関する講義及び演習 	相談支援専門員兼生活支援員	1

12月24日	茨城県社会福祉協議会	個人情報保護研修	<p>【Zoom】</p> <p>【講義・演習】</p> <p>「改正個人情報保護法の理解と対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法のこれまでの改正概要 ・個人情報保護法の基本的な仕組みを理解する ・直近の個人情報保護法改正の概要 ・実務上の留意点 ・改正公益通報者保護法の概要 	生活支援員	1
1月9日～10日	茨城県介護福祉士会	たん吸引等実施研修	<p>喀痰吸引等研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施設制度の概要 ・喀痰吸引等制度の成り立ち ・重度障害児・者についての理解 ・喀痰吸引等制度の運用 ・健康状態の把握 ・感染予防について ・呼吸の仕組みと呼吸障害について ・経管栄養について ・喀痰吸引の実技演習 	理学療法士	1
1月9日～3月9日	茨城県社会福祉協議会	ハラスメント研修	<p>【録画配信】</p> <p>【講義・演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「組織におけるハラスメント対策とは」 ・「組織におけるリスクマネジメント課題としてのハラスメントを理解する」 ・ハラスメントの最新動向 ・パワーハラスメントチェック ・セクシャルハラスメント ・相談されたときの対応 ・ハラスメントと理解されないかわり方のポイント ・部下のやる気を引き出す承認の仕方・ほめ方 ・部下に受け入れられる依頼・注意の仕方 ・上司に受け入れられる要望の仕方 	生活支援員	1
1月10日	全国社会福祉法人経営者協議会	リスクマネージャー実践研修	<p>【講義動画視聴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージャー総論 ・「福祉サービスをめぐる国の動向」 ・リスクマネージャー名論 ・「組織的な質改善の進め方」 ・「福祉サービスにおける法的責任～判例解説」 ・「福祉サービスにおける虐待防止」 ・「緊急時の初期対応」 ・「災害対策と事業継続対策の考え方」 ・「感染症対策と事業継続対策の考え方」 <p>【集合研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージャー実践におけるグループワーク ・リスクマネージャーの手法 ・緊急時対応シミュレーション ・リスクマネージャー実践講座のまとめ 	生活支援員	2

1月11日	茨城県心身障害者福祉協会	障害者相談支援専門員(初任者)研修	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の地域支援と相談支援従事者(サービス管理責任者、児童発達支援管理従事者)の役割に関する講義 ・障害者総合支援法及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義 ・相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義 ・ケアマネジメントプロセスに関する実習 ・相談支援の基礎技術に関する実習 ・障害福祉の動向に関する講義 ・相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義 ・人材育成の手法に関する講義 ・相談援助に関する講義及び演習 	相談支援専門員兼生活支援員	1
1月12日	茨城県社会福祉協議会	茨城県災害派遣福祉チームスキルアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> 【Zoom】 ・いばらき障AIの現状について ・被災地におけるメンタルケアの重要性について ・いばらき障AI活動時のフローについて 	生活支援員	1
1月23日	茨城県社会福祉協議会	アングーマネジメント研修	<ul style="list-style-type: none"> 【講義・演習】 「アングーマネジメントの理解」 ・アングーマネジメントとは ・怒りとは(自分の感情の癖を知ろう) ・アングーマネジメント3つのコントロール ①衝動のコントロール ②思考のコントロール ③行動のコントロール 【講義・演習】 「自分」に動さずさを、個々にはややる気を、職場には肯定的で明るい雰囲気、職場をリードする皆さんのためのコミュニケーション方法」 ・良好なコミュニケーションの根拠 ・良好なコミュニケーションの技術 ・良好なコミュニケーションの技術の使いこなし方 	生活支援員	1
1月30日	茨城県社会福祉協議会	コミュニケーション研修	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬改定の一部内容 ・経営ドックの説明 ・成年会PR ・処遇改善の一本化について一部 	看護師 生活支援員	2
2月8日	茨城県社会福祉法人 経営者協議会	茨城県経営協セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の地域支援と相談支援従事者(サービス管理責任者、児童発達支援管理従事者)の役割に関する講義 ・障害者総合支援法及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義 ・相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義 ・ケアマネジメントプロセスに関する実習 ・相談支援の基礎技術に関する実習 ・障害福祉の動向に関する講義 ・相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義 ・人材育成の手法に関する講義 ・相談援助に関する講義及び演習 	相談支援専門員 生活相談員	2
2月5日～6日	茨城県心身障害者福祉協会	障害者相談支援専門員(初任者)研修	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の地域支援と相談支援従事者(サービス管理責任者、児童発達支援管理従事者)の役割に関する講義 ・障害者総合支援法及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義 ・相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義 ・ケアマネジメントプロセスに関する実習 ・相談支援の基礎技術に関する実習 ・障害福祉の動向に関する講義 ・相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義 ・人材育成の手法に関する講義 ・相談援助に関する講義及び演習 	相談支援専門員兼生活支援員	1

2月5日～26日	茨城県心身障害者福祉協会	茨城県障害者虐待防止・権利擁護研修	<p>【YouTube】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の虐待に対する報道や事例について ・行政説明「障害者虐待防止法の理解と障害者虐待の状況について」 ・法人・事業所の理念と管理者の役割 ・虐待を防止するための日常の取組 ・通報プロセスについて ・虐待を防ぐために支援者に求められる考え方 ・より良い人間関係を築くために～ ・家族の想いを聴く ・メンターセッション動画 	サービス管理責任者 生活支援員	2
2月13日	茨城県社会福祉協議会	茨城県災害派遣福祉チーム チームリーダー・サブリーダー養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・DWTのリーダー・サブリーダーの役割について ・避難所派遣シミュレーション ・ぐんまDWTの活動事例及びチーム活動の進め方について ・リーダー・サブリーダーに求められるもの 	生活支援員	1
2月13日～3月8日	全国社会福祉協議会	障害者虐待防止マネジャー研修	<p>【録画配信】</p> <p>基調説明「施設・事業所、虐待防止マネジャー虐待防止のための取組について」 行政説明「虐待防止のための取組状況」 連続レポート 登壇者の各施設・事業所等の取組紹介 全体会（振り返り）</p>	サービス管理責任者	1
2月21日	茨城県社会福祉協議会	虐待防止研修	<p>【Zoom】 【講義・演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日々のケア・支援を振り返り、ケア・支援の合理的配慮を考える」 ・「虐待防止法」について ・利用者をどうとらえるのか ・ダレーションから考える ・虐待のない福祉現場 ・虐待のない組織づくり 	生活支援員	1
2月29日	茨城県社会福祉協議会 茨城県運営適正化委員会	福祉サービス苦情解決研修会	<p>「事業所のリスク管理と苦情対応～予防と事後対応のポイント～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情の仕組み・予防方法 ・利用者側から受けるハラスメントへの対応 	第3者委員 生活相談員	2
3月5日	全国身体障害者施設協議会	第36回経営セミナー	<p>【基調報告】</p> <p>「新しい障害者支援施設の創造を通してケアコミュニティを実現するために」 【被災地支援報告】 「令和6年能登半島地震」 【行政説明①】 「障害者福祉施設施策の動向について」 【行政説明②】 「令和6年度報酬改定のポイント」 【シンポジウム】 「令和6年度報酬改定について考える」</p>	副施設長 生活相談員 事務員	3